

# 公共健康医学専攻(SPH)シラバス

2020年度

東京大学大学院医学系研究科

## 目次

事 項		ページ
1. 授業科目の履修について		1
	1.修了要件	1
	2.履修手続き	1
2. 授業科目一覧		2
3. 時間割		3
4. 履修モデル		4～7
	「公衆衛生行政・管理」	4
	「保健アナリスト・コーディネーター」	5
	「臨床疫学・アウトカム評価」	6
	「医療情報・臨床工学」	7
5. シラバス		8～53
6. 公共健康医学専攻成績評価規則		54
7. 国際保健学専攻との合併科目について		55～59

日 程	
S P Hガイダンス	4月 1日 (水)
入進学者ガイダンス	2020年度 不開催
大学院入学式	2020年度 不開催
S 1ターム	4月 3日 (金) ～ 6月 1日 (月)
定期健康診断	4月中旬～6月上旬
S 2ターム	6月 2日 (火) ～ 7月22日 (水)
S P H研究室配属 (予定)	オリエンテーション：6月中旬～下旬 希望調書提出 : 7月上旬～中旬
夏季休業期間	8月1日 (土) ～ 9月23日 (水)
A 1ターム	9月25日 (金) ～11月18日 (水)
A 2ターム	11月19日 (木) ～ 1月25日 (月)
Wターム	1月26日 (火) ～ 3月 8日 (月)
S P H課題研究論文	題目届提出期限： 11月18日 (水)
	論文提出期限： 12月11日 (金)
	発 表 会： 1月8日 (金)
学位記授与式	3月22日 (月) (予定)

時 限	1 時 限	8 : 3 0 ~ 1 0 : 1 5
	2 時 限	1 0 : 2 5 ~ 1 2 : 1 0
	3 時 限	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 4 5
	4 時 限	1 4 : 5 5 ~ 1 6 : 4 0
	5 時 限	1 6 : 5 0 ~ 1 8 : 3 5
	6 時 限	1 8 : 4 5 ~ 2 0 : 3 0

# 1. 授業科目の履修について

## 1. 修了要件

コース	1年コース	2年コース																																																
標準修業年限	1年	2年																																																
必要単位数	必修科目及び選択科目合わせて30単位以上																																																	
修了要件	必修	①A：1科目+B：5科目の計6科目を履修 A：必須科目 <table border="1"> <tr> <th>科目番号</th> <th>科目名</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>41018113</td> <td>医学データの統計解析</td> <td>2</td> </tr> </table> B：下記の5つに分類されている必修科目を、各分類から1科目ずつ計5科目(各分類1科目以上、計5科目以上履修も可) <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>科目番号</th> <th>科目名</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>41018111</td> <td>疫学研究と実践</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41018115</td> <td>医学研究のデザイン</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>41018211</td> <td>精神保健学Ⅰ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41018213</td> <td>健康教育学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">3</td> <td>41018218</td> <td>医療倫理学Ⅰ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41018220</td> <td>社会と健康Ⅰ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41018316</td> <td>法医学・医事法学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td>41018311</td> <td>健康医療政策学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41018312</td> <td>医療情報システム学</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5</td> <td>41018222</td> <td>産業保健の理論と実践</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>41018322</td> <td>環境健康医学</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	科目番号	科目名	単位	41018113	医学データの統計解析	2	分類	科目番号	科目名	単位	1	41018111	疫学研究と実践	2	41018115	医学研究のデザイン	2	2	41018211	精神保健学Ⅰ	2	41018213	健康教育学	2	3	41018218	医療倫理学Ⅰ	2	41018220	社会と健康Ⅰ	2	41018316	法医学・医事法学	2	4	41018311	健康医療政策学	2	41018312	医療情報システム学	2	5	41018222	産業保健の理論と実践	2	41018322	環境健康医学	1
		科目番号	科目名	単位																																														
		41018113	医学データの統計解析	2																																														
分類	科目番号	科目名	単位																																															
1	41018111	疫学研究と実践	2																																															
	41018115	医学研究のデザイン	2																																															
2	41018211	精神保健学Ⅰ	2																																															
	41018213	健康教育学	2																																															
3	41018218	医療倫理学Ⅰ	2																																															
	41018220	社会と健康Ⅰ	2																																															
	41018316	法医学・医事法学	2																																															
4	41018311	健康医療政策学	2																																															
	41018312	医療情報システム学	2																																															
5	41018222	産業保健の理論と実践	2																																															
	41018322	環境健康医学	1																																															
	—	② 課題研究 (6単位) (2年次に履修申請すること)																																																
	選択科目	①選択科目(1年コースの課題研究は選択科目扱い) ②他専攻・他研究科(特に公共政策大学院)科目(8単位まで)																																																

注意事項：同一年度中に50単位を超えて履修科目を登録することはできません。

※ 通年科目はS1タームの単位として算入されます。(ただし、課題研究論文については1年コース所属学生の場合のみ、A1タームの履修単位として算入されます。)

## 2. 履修手続き

下記期間内に、学務システム(通称:UTAS)で履修登録を行ってください。

<参照> <https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>

	S1/通年/集中	S2	A1	A2	W
履修登録期間	4/3~4/16		9/25~10/8		
履修登録追加期間	—	6/2~6/15	—	11/19~12/8	1/26~2/8

## 2020年度公共健康医学専攻開講科目一覧

頁	科目番号	授 業 科 目	単 位	ターム	曜日	時限等	担当教員
8	41018111	疫学研究と実践	2	S1・S2	金	2	佐々木 敏 教授
9	41018112	予防保健の実践と評価	2	夏季	集中	2~4	佐々木 敏 教授
10	41018113	医学データの統計解析	2	S1	木	3・4	松山 裕 教授
11	41018114	医学統計学演習	2	S2	木	3・4	大庭 幸治 准教授
12	41018115	医学研究のデザイン	2	S2	火	3・4	松山 裕 教授
13	41018116	臨床疫学	2	S2	水	1・2	康永 秀生 教授
14	41018117	臨床疫学・経済学演習	2	A1・A2	木	3・4	康永 秀生 教授
15	41018118	保健医療経済学	2	S1	水	1・2	康永 秀生 教授
16	41018120	医療コミュニケーション学	2	S1	火	3・4	木内 貴弘 教授
18	41018122	医療コミュニケーション学演習	2	S2	水	3・4	木内 貴弘 教授
19	41018124	医療技術評価学演習	1	A2	木	2	康永 秀生 教授
20	41018125	医療経営学演習	2	通年*			橋本 英樹 教授 井田 有亮 特任講師
21	41018126	臨床医学概論	1	S1	木	2	康永 秀生 教授
22	41018127	医学研究データマネジメントとCDISC標準	1	A1	火	3	木内 貴弘 教授
23	41018128	がん疫学	1	A1	水	3	井上 真奈美 連携教授
24	41018211	精神保健学 I	2	S1・S2	火	5	川上 憲人 教授
25	41018212	精神保健学 II	2	A1・A2	火	5	川上 憲人 教授
26	41018213	健康教育学	2	A2	金	1・2	橋本 英樹 教授
28	41018214	健康社会学	2	A1	金	1・2	橋本 英樹 教授
29	41018218	医療倫理学 I	2	S1	木	5・6	赤林 朗 教授
30	41018219	医療倫理学 II	2	S2	木	5・6	瀧本 禎之 准教授
31	41018220	社会と健康 I	2	A1	木	1・2	近藤 尚己 准教授 橋本 英樹 教授 川上 憲人 教授
33	41018221	社会と健康 II	2	A2	金	3・4	近藤 尚己 准教授
35	41018222	産業保健の理論と実践	2	A1	水	1・2	川上 憲人 教授 大久保 靖司 教授
36	41018223	保健医療人材育成学	2	S1	火	1・2	大西 弘高 講師
37	41018224	学習者評価学	2	A1	火	1・2	大西 弘高 講師
	41018225	Health Care and Community Health in Japan 日本の医療と地域保健	1	S2	月	4	川上 憲人 教授
38	41018311	健康医療政策学	2	A1・A2	月	5	小林 廉毅 教授 豊川 智之 准教授
39	41018312	医療情報システム学	2	S1	金	3・4	大江 和彦 教授
40	41018313	医療情報システム学実習	1	S2	木	1・2	大江 和彦 教授
41	41018316	法医学・医事法学	2	S1・S2	月	3	岩瀬 博太郎 教授 榎野 陽介 准教授
42	41018320	健康危機管理学	1	S1	月	1・2	小林 廉毅 教授
43	41018321	保健行政・健康危機管理学実習	2	夏季	集中		小林 廉毅 教授
44	41018322	Environmental Health 環境健康医学	1	S2	月	2	Yoonhee Kim 准教授
45	41018323	公共健康情報学	2	S2	金	3・4	小山 博史 教授
46	41018324	公共健康情報学演習	2	A1	金	3・4	小山 博史 教授
48	41018330	Methods for Environmental Health Research 環境健康医学研究方法論	1	A1	月	2	Yoonhee Kim 准教授
49	41018331	Comparative healthcare systems in Asia アジア諸国における比較医療制度論	2	A1	月	3・4	橋本 英樹 教授 Soonman 教授 Kwon 教授
50	41018411	インターンシップ	2	夏季・A1・W			専攻長
51	41018511	公共健康医学特論	2	S1	月	4・5	専攻長
52	41018611	課題研究	6	通年			各指導教員
	41018326	社会保障法政策	2	A1・A2	月	6	島崎 謙治 講師

\* 講義室は、原則、医学部教育研究棟13階公共健康医学専攻（SPH）講義室

\* 以下の講義は休講とする

- ・「法医学・医事法学演習」
- ・「日本の医療と地域保健 Health Care and Community Health in Japan」
- ・「社会保障法政策」

\* 「医療経営学演習」は2020年5月16日から10月31日までの土曜日に実施する。

3. 時間割(2020年度案)

( )単位数

		S1	S2	夏季休業	A1	A2	W			
曜日	時限	4/3~6/1	6/2~7/22	8/1~9/23	9/25~11/18	11/19~1/25	1/26~3/8			
		8W	8W	8W	8W	8W	5W			
月	1	8:30 10:15	41018320- 健康危機管理学(1)	夏季休業					1	
	2	10:25 12:10			41018322-Environmental Health 環境健康医学(1)*5	41018330-Methods for Environmental Health Research 環 境健康医学研究方法論(1)			2	
	3	13:00 14:45	41018316-法医学・医事法学(2)*3			新規; 41018331-Comparative healthcare systems in Asia				3
	4	14:55 16:40	41018412- 公共健康医学特論(2)		【2020年度休講】41018225-日本の医 療と地域保健 Health Care and Community Health in Japan (1)	アジア諸国における比較医 療制度論(2)				4
	5	16:50 18:35				41018311-健康医療政策学(2)*4				5
	6	18:45 20:30				【2020年度休講】41018326-社会保障法政策 (2)				6
火	1	8:30 10:15	41018223- 保健医療人材育成学 (2)	下記特記 事項参照					1	
	2	10:25 12:10				41018224- 学習者評価学(2)			2	
	3	13:00 14:45	41018120- 医療コミュニケーション学(2)		41018115- 医学研究のデザイン(2)*1	41018127-医学研究データマ ネジメントとCDISC標準(1)				3
	4	14:55 16:40								4
	5	16:50 18:35	41018211-精神保健学 I (2)*2			41018212-精神保健学 II (2)				5
	6	18:45 20:30								6
水	1	8:30 10:15	41018118- 保健医療経済学(2)	下記特記 事項参照					1	
	2	10:25 12:10			41018116-臨床疫学(2)	41018222- 産業保健の理論と実 践(2)*5			2	
	3	13:00 14:45			41018122- 医療コミュニケーション学演習 (2)	41018128-がん疫学(1)				3
	4	14:55 16:40								4
	5	16:50 18:35								5
	6	18:45 20:30								6
木	1	8:30 10:15		下記特記 事項参照					1	
	2	10:25 12:10	41018126- 臨床医学概論(1)		41018313- 医療情報システム学実習(1)	41018220- 社会と健康 I (2)*3	41018124-医療技術 評価学演習(1)		2	
	3	13:00 14:45	41018113-医学データの 統計解析(2)**		41018114-医学統計学演 習(2)	41018117-臨床疫学・経済学演習(2)				3
	4	14:55 16:40								4
	5	16:50 18:35	41018218- 医療倫理学 I (2)*3		41018219- 医療倫理学 II (2)					5
	6	18:45 20:30								6
金	1	8:30 10:15		下記特記 事項参照					1	
	2	10:25 12:10	41018111-疫学研究と実践(2)*1			41018214- 健康社会学(2)	41018213- 健康教育学(2)*2		2	
	3	13:00 14:45	41018312- 医療情報システム学 (2)*4		41018323- 公共健康情報学(2)	41018324- 公共健康情報学演習 (2)	41018221- 社会と健康 II (2)			3
	4	14:55 16:40								4
	5	16:50 18:35								5
	6	18:45 20:30								6

業夏 期季 間休	8月	2週目 (8月3日 ~8月7 日)	41018112-予防保健の実践と評価(2)
	9月	1~2週目	41018321-保健行政・健康危機管理学実習(2)
通年			41018331 医療経営学演習

\*\* 必修科目  
\*1~5 選択必修科目

#### 4. 履修モデル

##### 履修モデル「公衆衛生行政・管理」

( )単位数

		S1	S2	夏季休業	A1	A2	W		
曜日		4/3～6/1	6/2～7/22	8/1～9/23	9/25～11/18	11/19～1/25	1/26～3/8		
時限		8W	8W	8W	8W	8W	5W		
月	1	8:30 10:15	41018320- 健康危機管理学(1)						1
	2	10:25 12:10		41018322-Environmental Health 環境健康医学(1)*5	41018330-Methods for Environmental Health Research 環 境健康医学研究方法論(1)				2
	3	13:00 14:45	41018316-法医学・医事法学(2)*3		新規; 41018331-Comparative healthcare systems in Asia				3
	4	14:55 16:40	41018412- 公共健康医学特論(2)	【2020年度休講】41018225-日本の医療 と地域保健 Health Care and Community Health in Japan (1)	アジア諸国における比較医 療制度論(2)				4
	5	16:50 18:35			41018311-健康医療政策学(2)*4				5
	6	18:45 20:30			【2020年度休講】41018326-社会保障法政策 (2)				6
火	1	8:30 10:15	41018223- 保健医療人材育成学 (2)		41018224- 学習者評価学(2)				1
	2	10:25 12:10							2
	3	13:00 14:45	41018120- 医療コミュニケーション学(2)	41018115- 医学研究のデザイン(2)*1	41018127-医学研究データマ ネジメントとCDISC標準(1)				3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35	41018211-精神保健学 I (2)*2		41018212-精神保健学 II (2)				5
	6	18:45 20:30							6
水	1	8:30 10:15	41018118- 保健医療経済学(2)	41018116-臨床疫学(2)	41018222- 産業保健の理論と実 践(2)*5				1
	2	10:25 12:10							2
	3	13:00 14:45		41018122- 医療コミュニケーション学演習 (2)	41018128-がん疫学(1)				3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35							5
	6	18:45 20:30							6
木	1	8:30 10:15		41018313- 医療情報システム学実習(1)	41018220- 社会と健康 I (2)*3	41018124-医療技術 評価学演習(1)			1
	2	10:25 12:10	41018126- 臨床医学概論(1)						2
	3	13:00 14:45	41018113-医学データの 統計解析(2)**	41018114-医学統計学演 習(2)	41018117-臨床疫学・経済学演習(2)				3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35	41018218- 医療倫理学 I (2)*3	41018219- 医療倫理学 II (2)					5
	6	18:45 20:30							6
金	1	8:30 10:15			41018214- 健康社会学(2)	41018213- 健康教育学(2)*2			1
	2	10:25 12:10	41018111-疫学研究と実践(2)*1						2
	3	13:00 14:45	41018312- 医療情報システム学 (2)*4	41018323- 公共健康情報学(2)	41018324- 公共健康情報学演習 (2)	41018221- 社会と健康 II (2)			3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35							5
	6	18:45 20:30							6

下記特記  
事項参照

業夏	8月	2週目	41018112-予防保健の実践と評価(2)
期季	9月	1～2週目	41018321-保健行政・健康危機管理学実習(2)
間休	通年		41018331 医療経営学演習

\*\* 必修科目

\*1～5 選択必修科目

履修モデル「保健アナリスト・コーディネーター」

( )単位数

		S1	S2	夏季休業	A1	A2	W		
曜日		4/3～6/1	6/2～7/22	8/1～9/23	9/25～11/18	11/19～1/25	1/26～3/8		
時限		8W	8W	8W	8W	8W	5W		
月	1	8:30 10:15	41018320- 健康危機管理学(1)						1
	2	10:25 12:10		41018322-Environmental Health 環境健康医学(1)*5	41018330-Methods for Environmental Health Research 環 境健康医学研究方法論(1)				2
	3	13:00 14:45	41018316-法医学・医事法学(2)*3			新規; 41018331-Comparative healthcare systems in Asia			3
	4	14:55 16:40	41018412- 公共健康医学特論(2)	【2020年度休講】41018225-日本の医療 と地域保健 Health Care and Community Health in Japan (1)		アジア諸国における比較医 療制度論(2)			4
	5	16:50 18:35				41018311-健康医療政策学(2)*4			5
	6	18:45 20:30				【2020年度休講】41018326-社会保障法政策 (2)			6
火	1	8:30 10:15	41018223- 保健医療人材育成学 (2)			41018224- 学習者評価学(2)			1
	2	10:25 12:10							2
	3	13:00 14:45	41018120- 医療コミュニケーション学(2)	41018115- 医学研究のデザイン(2)*1		41018127-医学研究データマ ネジメントとCDISC標準(1)			3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35	41018211-精神保健学 I (2)*2			41018212-精神保健学 II (2)			5
	6	18:45 20:30							6
水	1	8:30 10:15	41018118- 保健医療経済学(2)	41018116-臨床疫学(2)		41018222- 産業保健の理論と実 践(2)*5			1
	2	10:25 12:10							2
	3	13:00 14:45		41018122- 医療コミュニケーション学演習 (2)	下記特記 事項参照	41018128-がん疫学(1)			3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35							5
	6	18:45 20:30							6
木	1	8:30 10:15		41018313- 医療情報システム学実習(1)		41018220- 社会と健康 I (2)*3	41018124-医療技術 評価学演習(1)		1
	2	10:25 12:10	41018126- 臨床医学概論(1)					2	
	3	13:00 14:45	41018113-医学データの 統計解析(2)**	41018114-医学統計学演 習(2)		41018117-臨床疫学・経済学演習(2)			3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35	41018218- 医療倫理学 I (2)*3	41018219- 医療倫理学 II (2)					5
	6	18:45 20:30							6
金	1	8:30 10:15				41018214- 健康社会学(2)	41018213- 健康教育学(2)*2		1
	2	10:25 12:10	41018111-疫学研究と実践(2)*1						2
	3	13:00 14:45	41018312- 医療情報システム学 (2)*4	41018323- 公共健康情報学(2)		41018324- 公共健康情報学演習 (2)	41018221- 社会と健康 II (2)		3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35							5
	6	18:45 20:30							6

業夏	8月	2週目	41018112-予防保健の実践と評価(2)
期季	9月	1～2週目	41018321-保健行政・健康危機管理学実習(2)
間休	通年		41018331 医療経営学演習

\*\* 必修科目  
\*1～5 選択必修科目



履修モデル「臨床疫学・アウトカム評価」

( )単位数

		S1	S2	夏季休業	A1	A2	W			
曜日	時限	4/3~6/1	6/2~7/22	8/1~9/23	9/25~11/18	11/19~1/25	1/26~3/8			
		8W	8W	8W	8W	8W	5W			
月	1 8:30-10:15	41018320-健康危機管理学(1)		下記特記事項参照					1	
	2 10:25-12:10		41018322-Environmental Health 環境健康医学(1)*5		41018330-Methods for Environmental Health Research 環境健康医学研究方法論(1) 新規;				2	
	3 13:00-14:45	41018316-法医学・医事法学(2)*3			41018331-Comparative healthcare systems in Asia アジア諸国における比較医療制度論(2)					3
	4 14:55-16:40	41018412-公共健康医学特論(2)	【2020年度休講】41018225-日本の医療と地域保健 Health Care and Community Health in Japan (1)							4
	5 16:50-18:35				41018311-健康医療政策学(2)*4					5
	6 18:45-20:30				【2020年度休講】41018326-社会保障法政策(2)					6
火	1 8:30-10:15	41018223-保健医療人材育成学(2)			41018224-学習者評価学(2)				1	
	2 10:25-12:10								2	
	3 13:00-14:45	41018120-医療コミュニケーション学(2)	41018115-医学研究のデザイン(2)*1		41018127-医学研究データマネジメントとCDISC標準(1)				3	
	4 14:55-16:40								4	
	5 16:50-18:35	41018211-精神保健学 I (2)*2			41018212-精神保健学 II (2)				5	
	6 18:45-20:30								6	
水	1 8:30-10:15	41018118-保健医療経済学(2)	41018116-臨床疫学(2)		41018222-産業保健の理論と実践(2)*5				1	
	2 10:25-12:10								2	
	3 13:00-14:45		41018122-医療コミュニケーション学演習(2)		41018128-がん疫学(1)				3	
	4 14:55-16:40								4	
	5 16:50-18:35								5	
	6 18:45-20:30								6	
木	1 8:30-10:15		41018313-医療情報システム学実習(1)		41018220-社会と健康 I (2)*3	41018124-医療技術評価学演習(1)			1	
	2 10:25-12:10	41018126-臨床医学概論(1)							2	
	3 13:00-14:45	41018113-医学データの統計解析(2)**	41018114-医学統計学演習(2)		41018117-臨床疫学・経済学演習(2)				3	
	4 14:55-16:40								4	
	5 16:50-18:35	41018218-医療倫理学 I (2)*3	41018219-医療倫理学 II (2)						5	
	6 18:45-20:30								6	
金	1 8:30-10:15				41018214-健康社会学(2)	41018213-健康教育学(2)*2			1	
	2 10:25-12:10	41018111-疫学研究と実践(2)*1							2	
	3 13:00-14:45	41018312-医療情報システム学(2)*4	41018323-公共健康情報学(2)		41018324-公共健康情報学演習(2)	41018221-社会と健康 II (2)			3	
	4 14:55-16:40								4	
	5 16:50-18:35								5	
	6 18:45-20:30								6	

業夏	8月	2週目	41018112-予防保健の実践と評価(2)
期季	9月	1~2週目	41018321-保健行政・健康危機管理学実習(2)
間休	通年		41018331 医療経営学演習

\*\* 必修科目  
\*1~5 選択必修科目

履修モデル「医療情報・臨床工学」

( )単位数

		S1	S2	夏季休業	A1	A2	W		
曜日		4/3～6/1	6/2～7/22	8/1～9/23	9/25～11/18	11/19～1/25	1/26～3/8		
時限		8W	8W	8W	8W	8W	5W		
月	1	8:30 10:15	41018320- 健康危機管理学(1)						1
	2	10:25 12:10		41018322-Environmental Health 環境健康医学(1)*5	41018330-Methods for Environmental Health Research 環 境健康医学研究方法論(1)				2
	3	13:00 14:45	41018316-法医学・医事法学(2)*3		新規; 41018331-Comparative healthcare systems in Asia				3
	4	14:55 16:40	41018412- 公共健康医学特論(2)	【2020年度休講】41018225-日本の医療 と地域保健 Health Care and Community Health in Japan (1)	アジア諸国における比較医 療制度論(2)				4
	5	16:50 18:35			41018311-健康医療政策学(2)*4				5
	6	18:45 20:30			【2020年度休講】41018326-社会保障法政策 (2)				6
火	1	8:30 10:15	41018223- 保健医療人材育成学 (2)		41018224- 学習者評価学(2)				1
	2	10:25 12:10							2
	3	13:00 14:45	41018120- 医療コミュニケーション学(2)	41018115- 医学研究のデザイン(2)*1	41018127-医学研究データマ ネジメントとCDISC標準(1)				3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35	41018211-精神保健学 I (2)*2		41018212-精神保健学 II (2)				5
	6	18:45 20:30							6
水	1	8:30 10:15	41018118- 保健医療経済学(2)	41018116-臨床疫学(2)	41018222- 産業保健の理論と実 践(2)*5				1
	2	10:25 12:10							2
	3	13:00 14:45		41018122- 医療コミュニケーション学演習 (2)	41018128-がん疫学(1)				3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35							5
	6	18:45 20:30							6
木	1	8:30 10:15		41018313- 医療情報システム学実習(1)	41018220- 社会と健康 I (2)*3	41018124-医療技術 評価学演習(1)			1
	2	10:25 12:10	41018126- 臨床医学概論(1)						2
	3	13:00 14:45	41018113-医学データの 統計解析(2)**	41018114-医学統計学演 習(2)	41018117-臨床疫学・経済学演習(2)				3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35	41018218- 医療倫理学 I (2)*3	41018219- 医療倫理学 II (2)					5
	6	18:45 20:30							6
金	1	8:30 10:15			41018214- 健康社会学(2)	41018213- 健康教育学(2)*2			1
	2	10:25 12:10	41018111-疫学研究と実践(2)*1						2
	3	13:00 14:45	41018312- 医療情報システム学 (2)*4	41018323- 公共健康情報学(2)	41018324- 公共健康情報学演習 (2)	41018221- 社会と健康 II (2)			3
	4	14:55 16:40							4
	5	16:50 18:35							5
	6	18:45 20:30							6

下記特記  
事項参照

業夏	8月	2週目	41018112-予防保健の実践と評価(2)
期季	9月	1～2週目	41018321-保健行政・健康危機管理学実習(2)
間休	通年		41018331 医療経営学演習

\*\* 必修科目  
\*1～5 選択必修科目

## 5. シラバス

【注意】2020年度については、コロナウイルスの影響で、特に S1 タ  
ームは随時変更等起きる場合がありますので、各自 UTAS での確認  
を頻回にしてください。

科目名	疫学研究と実践 [科目番号：41018111]		
タ ャ ム	S1S2	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	金 2		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	佐々木 敏		
授 業 の 目 的	<p>疫学研究ならびに公衆衛生活動を実際に行いたいと考えている学生にとって必須の考え方と知識、基本的な技術を提供する講義である。 地域・職域など、社会（生活環境下）で実施する疫学研究の理論と方法についての基本を理解することを目的とする。この種の疫学研究を実施・実践する際や利用する際に考慮すべき点を理解し、その具体的な方法と技術について学ぶ。 主な内容は次の通り：予防保健と疫学の関連、疫学的思考、疫学研究論文の読み方、疫学研究のデザイン、測定誤差の種類と対策、疾患からみた疫学研究、生活要因からみた疫学研究、保健業務における疫学研究の考え方と方法、保健業務や疾病予防活動への研究成果の利用方法、その他。</p>		
授 業 の 方 法	<p>・各回ひとつのテーマを選んで講義を行う。 ・テーマ毎に資料が配布される。 ・3回目から12回目までは毎回講義後に宿題（小レポート）が課される。 ・5回目から13回目までは小レポートの発表が課されることがある。</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>1) 4/3 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 序論 2) 4/10 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 疫学の歴史と社会的役割 3) 4/17 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 記述疫学の目的と方法 4) 4/24 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 生態学的研究の目的と方法  (注意) 5/1 は休講 5) 5/8 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 疫学における「集団」の考え方 6) 5/15 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 疫学における「測定方法」の考え方 7) 5/22 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 横断研究の目的と方法 8) 5/29 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 症例対照研究の目的と方法 9) 6/5 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) コホート研究の目的と方法 10) 6/12 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 介入研究の目的と方法 (1)  11) 6/19 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 介入研究の目的と方法 (2)  12) 6/26 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) レビュー・メタ・アナリシスの目的と方法 13) 7/3 (教育研究棟 14 階 鉄門講堂) 疫学研究の保健活動への活用  (注意) 7/17 を予備日とする。</p>		
教 科 書	講義毎に異なる。適宜指示する。		
参 考 書	講義毎に異なる。適宜指示する。		
成績評価の方法	出席（配点：およそ 4 割）、小レポート（同：およそ 4 割）と講義時間中の質疑応答など  （同：およそ 2 割）を合算して判定する。		
他の授業との関連・履修上の注意	講義中における質疑応答ならびに小レポートを用いた発表・質疑応答への積極的な参加を重視する。 「予防保健の実践と評価」を学ぶための必須の基礎理論となる。		

科 目 名	予防保健の実践と評価 [科目番号：41018112]		
タ ー ム	集中	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	集中		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	佐々木 敏		
授 業 の 目 的	<p>公衆衛生活動・保健活動などを実際に行いたい、間接的にでもこれらに関連する職業に就きたいと考えている学生にとって必須の知識と技術、考え方を提供する講義である。  地域・職域などをフィールドとして行う疫学研究や予防保健領域の実践活動の計画・実践・評価の方法、政策への活用などについて、さまざまな実例を用いて、実践者・研究者からの紹介を通じて学ぶ。理論だけでは解決できない現実に対して科学性を保ちながらどのように対処するかという実践的な視点からの予防保健の知識や技術の獲得を主な目的とする。</p>		
授 業 の 方 法	<p>・各回ひとつのテーマを選んで講義を行う。  ・テーマ毎に資料が配布される。</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>1) 8/3 実生活・実社会の中で行われる地域予防保健分野の介入試験はどのように計画され、実施されるべきかについて地域社会との関わり方を中心に学ぶ。  2) 8/4 公衆衛生調査の行われ方とあり方について国民健康・栄養調査を例に学ぶ。  3) 8/5 予防保健分野/環境保健分野における実態把握ならびに活動評価に必要な調査技術について実例を交えて学ぶ。  4) 8/6 たばこ、食事、運動などの生活習慣を例にあげて、予防保健の理論と実践ならびにその評価方法について学ぶ。  5) 8/7 地域医療の歴史と実践、あり方について実例を交えて学ぶ。  原則としてすべての日で、担当教員による基礎知識に関する講義と外来講師（実践者・研究者）による講義・討論を行う。  (注意) 講義の順序ならびに内容は変更がありうる。公共健康医学専攻以外の学生は7月下旬に担当教員宛に事前に確認されたい。</p>		
教 科 書	講義毎に異なる。適宜指示する。		
参 考 書	講義毎に異なる。適宜指示する。		
成績評価の方法	<p>講義への出席 (配点：およそ4割) ならびに講義内での討論の内容 (質問と発言) (配点： およそ6割) を総合的に評価して判定する。</p>		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>講義中における質疑応答への積極的な参加を重視する。  「疫学研究と実践」で学んだ知識・理論を実践につなげられる能力を養うことを目的とする。</p>		

科目名	医学データの統計解析 [科目番号：41018113]		
ターム	S 1	単位数	2
曜日・授業時間帯	木 4&comma; 木 3		
場所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	松山 裕		
授業の目的	統計的推測の基礎とともに、医学研究で日常的に用いられる統計解析手法、及びやや高度ながら身に付けておくべき統計解析手法について、実例を中心に教え、医学論文を読むうえで必須となる統計基礎知識を習得させると同時に、自らが統計解析を行ううえでの基礎能力を身に付けることを目的とする。		
授業の方法	・講義形式 (テーマごとに資料が配布される)   ・毎回の講義に関連したミニレポートを毎週提出すること		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4 月 9 日 医学研究における統計学の活用   4 月 16 日 治療効果・曝露効果の指標と 95% 信頼区間   4 月 23 日 2 群の比較   4 月 30 日 層別解析・ロジスティック回帰   5 月 14 日 分散分析入門・相関と回帰   5 月 21 日 生存時間解析   5 月 28 日 経時データ解析入門、サンプルサイズ設計     期末試験の日時は、7 月 31 日 (金) 3 限 (13 時 00 分 - 14 時 45 分)		
教科書	下記、参考書欄を参照		
参考書	初級者向け参考書   ・はじめて学ぶ医療統計学. 折笠秀樹 監訳 (総合医学社)   ・一歩進んだ医療統計学. 折笠秀樹 監訳 (総合医学社)   中級者以上向け参考書   ・医学研究における実用統計学. DG Altman 著 木船・佐久間訳 (サイエンティスト社)   ・Lang et al. (著) 大橋・林 監訳: わかりやすい医学統計の報告-医学論文作成のためのガイドライン - 中山書店、2011.   ・医師のための臨床統計学 基礎編. 大橋靖雄 編著 医歯薬出版株式会社		
成績評価の方法	期末試験 (80%)、毎回の小レポート (10%)、出席 (10%) で評価する。		
他の授業との関連・履修上の注意	受講希望者は 1 回目の講義に必ず出席すること。		

科目名	医学統計学演習 [科目番号：41018114]		
ターム	S 2	単位数	2
曜日・授業時間帯	木 3&comma; 木 4		
場所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	大庭 幸治		
授業の目的	<p>「医学データの統計解析」で講義された主要な統計手法について、実例を用いて統計解析ソフト <b>JMP</b> で演習を行う。その後、各グループで探索的な研究仮説を検討したのち、<b>eStat</b> (<a href="https://www.e-stat.go.jp/">https://www.e-stat.go.jp/</a>)にて公開されている公的データを利用して <b>JMP</b> を用いた解析を実施し、解析結果の発表を行い結果の提示方法を学ぶ。 そのため、授業開始前に、各自の PC に <b>JMP</b> をインストールして、インストール済みの PC を持参すること。PC を持っていない学生は、事前に担当教員まで連絡をすること。</p>		
授業の方法	<p>・ 最初に <b>JMP</b> の使用についての演習を行う。           ・ 解析手法について簡単なインストラクションの後、実例を用いた解析演習を行い、レポートを作成する。           ・ 後半では、実際のデータを <b>JMP</b> を用いて解析し、班別に結果を発表する。</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>6月4日 <b>JMP</b> 入門 6月11日 2群の比較 6月18日 相関と回帰、分散分析 6月25日 分割表の解析とロジスティック回帰 7月2日 生存時間解析 7月9日 多変量解析、<b>JMP</b> を用いた探索的データ解析 7月16日 データ解析実習 7月20日 結果発表会</p>		
教科書	<p>・「医学データの統計解析」と同様の教科書           ・統計ソフト <b>JMP</b> 内、ヘルプドキュメンテーション (日本語版)            ・心理統計学の基礎 統合的理解のために (有斐閣アルマ)            ・続・心理統計学の基礎 統合的理解を広げ深める (有斐閣アルマ)            ・医学研究のための多変量解析 (メディカル・サイエンス・インターナショナル)  </p>		
参考書	教科書を参照のこと		
成績評価の方法	出席並びに発表(50%)と各講義で出されるレポート(50%)で合・否判定する。		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>授業開始前に、各自の PC に <b>JMP</b> をインストールして、インストール済みの PC を持参すること。インストールの方法は、「医学データの統計解析」において配布する <b>JMP</b> のインストールについてを参照のこと。 最終発表会が本年度は 7 月 20 日のため、注意すること。</p>		

科目名	医学研究のデザイン [科目番号：41018115]		
ターム	S 2	単位数	2
曜日・授業時間帯	火 4&comma; 火 3		
場所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	松山 裕		
授業の目的	疫学研究・臨床試験のデザインと実際の研究運営についての講義・演習を行う。  主要雑誌に掲載される論文について、特にデザインについて理解するための基礎知識を習得し、共同作業でプロトコルを策定できる能力並びに研究事務局に参画するために必要とされる能力を磨くことを目指す。		
授業の方法	・テーマ毎に講義・演習を行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	6/02 研究デザインの分類と特徴：観察研究のデザイン総論 (松山)   6/09 研究デザインの分類と特徴：臨床試験のデザイン総論 (松山)   6/16 臨床試験のデザインとプロトコル作成：CONSORT による論文チェック (林)   6/23 疫学研究のデザインとプロトコル作成：STROBE による論文チェック (林)   6/30 データマネージメントと品質管理：研究組織と運営 (辻井)   7/07 医薬品の承認審査・先進医療の評価の概要と実際 (柴田)   7/14 傾向スコアを用いた研究デザイン：傾向スコアの正しい使い方 (松山)		
教科書	講義毎に異なるので適宜指示する。ただし以下を国際的にも評価の高い一般的な教科書として推薦する。  ・Hulley et al. (著) 木原・木原 訳：医学的研究のデザイン、メディカルサイエンスインターナショナル、2009。  ・Lang et al. (著) 大橋・林 監訳：わかりやすい医学統計の報告-医学論文作成のためのガイドライン- 中山書店、2011。		
参考書	講義毎に異なるので適宜指示する。ただし以下を国際的にも評価の高い一般的な教科書として推薦する。  ・Hulley et al. (著) 木原・木原 訳：医学的研究のデザイン、メディカルサイエンスインターナショナル、2009。  ・Lang et al. (著) 大橋・林 監訳：わかりやすい医学統計の報告-医学論文作成のためのガイドライン- 中山書店、2011。		
成績評価の方法	出席 (50%)、レポート・演習報告等 (50%) で評価する。		
他の授業との関連・履修上の注意	履修希望者は 1 回目の講義に必ず出席すること。		



科目名	臨床疫学 [科目番号：41018116]		
ターム	S 2	単位数	2
曜日・授業時間帯	水 1&comma; 水 2		
場所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	康永 秀生		
授業の目的	臨床疫学研究のテーマは、日常臨床の中に潜んでいる。Clinical practice から research question を紡ぎ出し、研究仮説を立て、適切なデザインを構築し、利用可能なデータから意味のある分析結果を出し、臨床的に妥当な解釈を行う。これら一連のプロセスを遂行するために不可欠となる臨床疫学の理論および実践的な方法論を身につける。		
授業の方法	事前に渡された関連文献を熟読してくること。それを前提として講義で基礎的知識を提供・整理したのち、既存の研究を題材にディスカッションをしてもらい知識の体系化を図る。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1) (6/10、1 限) 臨床疫学の基礎知識 1   2) (6/10、2 限) 臨床疫学の基礎知識 2   3) (6/17、1 限) EBM と診療ガイドライン   4) (6/17、2 限) 臨床診断   5) (6/24、1 限) 臨床予測モデル   6) (6/24、2 限) コホート研究 / 症例対照研究 / 自己対照研究デザイン(岩上)   7) (7/1、1 限) ランダム化比較試験(RCT)とリアルワールドデータ(RWD)研究   8) (7/1、2 限) ヘルスサービスリサーチ   9) (7/8、1 限) 回帰分析の注意点   10) (7/8、2 限) 傾向スコア分析(propensity score analysis)   11) (7/15、1 限) 操作変数法(instrumental variable method)   12) (7/15、2 限) 差の差の検定、回帰分断デザイン (笹渕)   13) 14) (7/22、1・2 限) レポート発表会   ※講義の順番は変更することがある		
教科書	康永秀生. できる！臨床研究 最短攻略 50 の鉄則. 金原出版 2017		
参考書	Fletcher RW&comma; Fletcher SW. Clinical Epidemiology; The Essentials. Fifth Edition. Lippincott&comma;Williams&Wilkins. 2012		
成績評価の方法	出席点 50 点、レポート 50 点		
他の授業との関連・履修上の注意	非医師の学生で本講義の履修を希望する者は、S1 ターム「臨床医学概論」の履修を推奨する。   公共健康医学専攻「臨床疫学・経済学演習」と関連する。		

科 目 名	臨床疫学・経済学演習 [科目番号：41018117]		
タ ー ム	A1A2	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	木 4&comma; 木 3		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	康永 秀生		
授 業 の 目 的	1. 医学英語論文の書き方を学ぶ 在学中から医学英語論文を書こうと真剣に考えている学生を対象とする。  2. 研究費申請書の書き方を学ぶ 卒業後に研究費を申請することを真剣に検討している学生を対象とする。 各自の臨床または公衆衛生の経験をもとに研究テーマを確立し、研究の背景・目的・方法・期待される結果を記述し、研究経費の見積もり等を作成する、実践的なスキルを身につける。(論文執筆や研究費申請の経験の有無は問わない)		
授 業 の 方 法	原則として、3 限は医学英語論文の書き方演習、4 限は研究費申請書(文部科学研究費・若手研究または基盤 C のフォーマットに従う)作成の個別指導。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	10/1 3 限：医学論文を書くための準備(1)、4 限：研究費申請書の書き方(1) 10/8 3 限：医学論文を書くための準備(2)、4 限：研究費申請書の書き方(2) 10/15 3 限：Title の書き方、4 限：個別指導 10/22 (公衆衛生学会のため休み) 10/29 3 限：Abstract の書き方、4 限：個別指導 11/5 3 限：Introduction の書き方、4 限：研究計画の口頭説明 11/12 3 限：Methods&comma; Results の書き方、4 限：個別指導 11/19 3 限：Discussion の書き方(1)、4 限：個別指導 11/26 3 限：Discussion の書き方(2)、4 限：個別指導 12/3 3 限：論文の Submission、4 限：個別指導 12/10 3 限：論文の Revision、4 限：個別指導 12/17 3 限・4 限：研究計画の中間発表 1/7 3 限：Reviewer comment の書き方(1)、4 限：個別指導 1/16 3 限：Reviewer comment の書き方(2)、4 限：研究費申請書の審査 ※講義・演習の順番は変更となることがある。		
教 科 書	康永秀生. 必ずアクセプトされる医学英語論文 完全攻略 50 の鉄則. 金原出版.		
参 考 書	なし		
成績評価の方法	出席 30%、毎回の課題 30%、最後に提出する研究費申請書 40%により評価する。		
他の授業との関連・履修上の注意	履修・聴講ともに、「臨床疫学」講義の受講が必須。 履修(3・4 限ともに履修し単位取得)希望者は、10 名程度まで受け入れ可。 「臨床疫学」講義の受講者から、本演習の履修希望者を 7 月中に募集する。 履修希望者が 10 名を超える場合は、「臨床疫学」講義の成績上位者を優先する。 3 限のみの聴講は可能。(この場合も「臨床疫学」講義の受講は必須。単位取得はできないので注意)。4 限の聴講のみは不可。		

科目名	保健医療経済学 [科目番号：41018118]		
タ ー ム	S 1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	水 1&comma; 水 2		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	康永 秀生		
授 業 の 目 的	1. 医療経済学の基礎知識を身に着ける。  2. 医療経済学の考え方に沿って、現実の医療経済政策における個別の課題について考察する力をつける。		
授 業 の 方 法	講義、ディスカッション、レポート		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1) 医療経済学の基礎 1 (康永) (4 月 8 日 1 限) 2) 医療経済学の基礎 2 (康永) (4 月 8 日 2 限) 3) 保険の理論 (康永) (4 月 15 日 1 限) 4) 医療サービスの生産効率性 (康永) (4 月 15 日 2 限) 5) 医療サービス市場における競争・規制 (康永) (4 月 22 日 1 限) 6) 供給者誘発需要仮説 (康永) (4 月 22 日 2 限) 7) 医療経済学と医療政策 1 (康永) (5 月 13 日 1 限) 8) 医療制度の国際比較 (康永) (5 月 13 日 2 限) <5 月 20 日 1 限は休み> 9) 行動経済学 (後藤) (5 月 20 日 2 限) 10) 医療経済学と医療政策 3 (康永) (5 月 27 日 1 限) 11) 医療費増加の要因 (康永) (5 月 27 日 2 限) 12) 医療経済学と医療政策 4 (康永) (6 月 3 日 1 限) 13) 医療経済学と医療政策 5 (康永) (6 月 3 日 2 限) ※各講義の順番は変更することがある		
教 科 書	なし		
参 考 書	康永秀生. 健康の経済学. 中央経済社 橋本英樹/泉田信行編. 医療経済学講義. 東京大学出版会		
成績評価の方法	出席 50%、レポート 50%		
他の授業との関連・履修上の注意	特になし 公共健康医学専攻「医療技術評価学演習」などに関連する。		

科 目 名	医療コミュニケーション学 [科目番号：41018120]		
タ ー ム	S 1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	火 3&comma; 火 4		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	木内 貴弘、奥原 剛		
授 業 の 目 的	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。</p>		
授 業 の 方 法	各回1テーマの講義を原則とするが、グループワークを行うことがある。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>4月7日3限 医療（ヘルス）コミュニケーション学概論 木内貴弘   4月7日4限 ヘル スコミュニケーションの研究：分析方法と実証研究 奥原剛   4月14日3限 メディアコ ミュニケーションを理解する①：テレビ 市川衛（NHK）   4月14日4限 よりよい患 者・医療者間コミュニケーションに向けて①：実証研究に基づくコミュニケーションの改 善 石川ひろの（帝京大学）   4月21日3限 政策形成とアドボカシーのコミュニケーシ ョン：アドボカシーの概念と人材育成 神馬征峰（国際地域保健学）   4月21日4限 メ ディアコミュニケーションを理解する②：新聞 本田麻由美（読売新聞）   4月28日3限 よりよい患者・医療者間コミュニケーションに向けて②：賢い患者・市民を育てる取り組 み 山口育子（COML）   4月28日4限 メディアコミュニケーションを理解する③：イ ンターネット 中山和弘（聖路加国際大学）   5月12日3限 組織のコミュニケーション： コーチング・カウンセリング・メンターリング 榊原圭子（東洋大学）   5月12日4限 ヘルスコミュニケーションのコンテンツを創る①：文書—行動変容を促すコミュニケーシ ョン 奥原剛   5月19日3限 ヘルスコミュニケーションのコンテンツを創る②：映像— エンターテイメント・エデュケーション 加藤美生（帝京大学）   5月19日4限 ヘル スコミュニケーションのコンテンツを創る③：イラスト—ビジュアル・コミュニケーション 原木万紀子（埼玉県立大学）   5月26日3限 よりよい患者・医療者間コミュニケーシ ョンに向けて③：外国人患者とのコミュニケーション 大野直子（順天堂大学）   5月26 日4限 まとめ：グループ討論と総合討論 木内貴弘、奥原剛、岡田宏子  </p>		
教 科 書	石川ひろの 著. 保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門. 大修館書店. 2020		
参 考 書	<p>・石川ひろの、奥原剛、他著. 人間関係論（系統看護学講座 基礎分野）. 医学書院. 2018   ・藤崎和彦、橋本英樹 著. 医療コミュニケーション研究会 編. 医療コミュニケーション— 実証研究への多面的アプローチ. 篠原出版新社. 2010   ・Debra L. Roter &amp; Judith A. Hall 著. 石川ひろの、武田裕子 訳. 患者と医師のコミュニケーション—より良い関係作りの科 学的根拠. 篠原出版新社. 2007   ・Athena du Pre. Communicating About Healt</p>		
成績評価の方法	講義への出席（30%）、レポート（70%）による。		

他の授業との関連・履修上の注意	医療コミュニケーション学演習の前に受講することが望ましい。健康社会学、健康教育学、等と関連する。
-----------------	--

科 目 名	医療コミュニケーション学演習 [科目番号: 41018122]		
タ ー ム	S 2	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	水 4&comma; 水 3		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	木内 貴弘、奥原 剛		
授 業 の 目 的	効果的な医療コミュニケーション (ヘルスコミュニケーション) を行うために必要なスキルを、対人コミュニケーション、メディアを通じたコミュニケーションそれぞれ具体的にに取り上げ、演習を行うことによって、「医療コミュニケーション学」の講義で学んだ理論や方略に対する理解を深めるとともに、具体的な医療コミュニケーションの場 (医療機関、官公庁、教育機関、研究機関、患者支援組織、マスコミ等) でこれらを生かすことができるようにすることを目的とする。		
授 業 の 方 法	・各回、課題にもとづいて演習・発表・討論を行う。 ・演習毎にプレゼンテーション、レポート提出、相互評価等を行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	6 月 3 日(水)13:00-16:40 ヘルスライティング (1) 患者・家族を支援する説明文書を作る (注意: ノート PC 持参のこと) 高山智子 (がんコミュニケーション学)   6 月 10 日(水)13:00-16:40 ヘルスライティング (2) 市民の行動変容を促す保健医療文書を作る (注意: ノート PC 持参のこと) 奥原剛   6 月 17 日(水)13:00-16:40 自分を知る・相手を知る MBTI (Myers-Briggs Type Indicator) 演習 (1) 園田由紀(日本 MBTI 協会)   6 月 24 日(水)13:00-16:40 自分を知る・相手を知る MBTI 演習 (2) 園田由紀(日本 MBTI 協会)   7 月 1 日(水)13:00-16:40 自分を知る・相手を知る MBTI 演習 (3) 園田由紀(日本 MBTI 協会)   7 月 8 日(水)13:00-16:40 行動変容を支援するスキル コーチング演習 田口智博(藤田医科大学)   7 月 15 日(水)13:00-16:40 メディア報道のあり方を考える メディアドクター演習 渡邊清高 (帝京大学)   7 月 22 日(水)13:00-16:40 ヘルスライティング (3) 発表会・総合討論 (注意: ノート PC 持参のこと) 木内貴弘、奥原剛、高山智子、岡田宏子		
教 科 書	特に指定しない。		
参 考 書	・石川ひろの 著. 保健医療専門職のためのヘルスコミュニケーション学入門. 大修館書店. 2020   ・石川ひろの&comma; 奥原剛&comma; 他著: 人間関係論 (系統看護学講座 基礎分野). 医学書院. 2018   ・田口智博 他著: 「特集 コーチング」. 治療&comma; 南山堂. 2016 年 98 卷 9 月号   ・園田由紀 訳: MBTI への招待—C.G.ユングの「タイプ論」の応用と展開. 金子書房. 2002		
成績評価の方法	出席 (60%)、演習内でのプレゼンテーション・作成した資料・レポート (40%) によって評価する。演習への参加が前提となるため、やむを得ず欠席する場合には、事前に事情を届け出ること。特に MBTI 演習は 3 回とも出席できることを前提とする。		
他の授業との関連・履修上の注意	・「医療コミュニケーション学」講義を受講していることが望ましい。 ・MBTI 演習については履修登録なしの聴講を認めない。 ・6 月 3 日、6 月 10 日、7 月 22 日は各自ノート PC を持参すること。		

科 目 名	医療技術評価学演習			[科目番号：41018124]
タ ー ム	A 2	単 位 数	1	
曜日・授業時間帯	木 2			
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室			
担 当 教 員	康永 秀生			
授 業 の 目 的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療技術評価(Health Technology Assessment&amp;comma; HTA)の基本を身に着ける。</li> <li> ・ 費用効果分析のための臨床アウトカム及びコスト情報の収集、QOL 評価、決定樹・マルコフモデルの作成、費用対効果の算出、感度分析などの一連の医療経済評価手法を学ぶ。</li> <li> </li> </ul>			
授 業 の 方 法	系統講義と演習。一部、電卓やパソコンを用いた演習を行う。			
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1. (11 月 19 日) 医療技術評価学の基礎   2. (11 月 26 日) QOL 評価 (五十嵐)   3. (12 月 3 日) 費用効果分析・その 1   4. (12 月 10 日) 費用効果分析・その 2   5. (12 月 17 日) 費用効果分析・その 3   6. (1 月 7 日) 医薬品及び医療機器の経済評価 (田倉)   7. (1 月 14 日) 医療技術評価と医療政策 (池田)   ※講義の順番は変更することがある			
教 科 書	なし			
参 考 書	Drummond MF&comma; et al. Methods for the Economic Evaluation of Health Care Programmes Fourth Edition. Oxford Medical Publications 2015			
成績評価の方法	出席 50%、演習での課題達成度 50%			
他の授業との関連・履修上の注意	特になし			

科目名	医療経営学演習 [科目番号：41018125]		
タ ー ム	通年	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	土 2&comma; 土 3&comma; 土 1&comma; 土 5&comma; 土 4		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	橋本 英樹、井田 有亮		
授 業 の 目 的	<p>病院経営の基本的言語・態度・基本を学ぶ。なお本演習は、平成 29 年度より東京大学医学部附属病院において開講されている社会人講座「経営のできる大学病院幹部養成プログラム」(全 74 コマ) の一部の講義・演習を特別に SPH 履修者に対してオープンにするものである(全コースの受講を希望する場合は、プログラム公募(12 月下旬)に合わせて応募のこと、全コース修了者には履修証明書が出される。有料。)</p>		
授 業 の 方 法	<p>講義、ディスカッション、演習を組み合わせる。当日までに予習を必須とする。特にケースメソッドを用いる演習では、事前にケースシナリオを読み込み、ディスカッションに必要な準備をしてくること。</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>5 月 16 日 10:00-11:45 インTRODクシヨN 橋本英樹 5 月 16 日 13:00-14:45 ケーススタディ演習 渋谷明隆 5 月 16 日 15:00-16:45 医療経営の原理 西田在賢 5 月 23 日 10:00-11:45 組織論 overview 渡邊光康 5 月 23 日 13:00-14:45 会計学概論 森勇治 5 月 23 日 15:00-16:45 簿記 演習 森勇治 5 月 30 日 10:00-11:45 マーケティング overview 渡邊光康 5 月 30 日 13:00-14:45 簿記 森勇治 5 月 30 日 15:00-16:45 財務諸表 演習 森勇治 6 月 13 日 13:00-14:45 ファイナンス論 講義 松原由美 6 月 13 日 15:00-16:45 ファイナンス論(続き) 松原由美 6 月 20 日 10:00-11:45 人材マネジメント overview 講義 高橋俊介 6 月 20 日 13:00-14:45 資金調達論(ケース) 演習 松原由美 6 月 20 日 15:00-16:45 意思決定会計(ケース) 演習 松原由美 6 月 27 日 10:00-11:45 医療制度論 講義 橋本英樹 6 月 27 日 13:00-14:45 リーダーシップ論総論 講義 渡邊光康 9 月 5 日 13:00-14:45 人材論演習(ケース) 青山陽一・奥真也 9 月 5 日 15:00-16:45 人材論演習(ケース) 青山陽一・奥真也 9 月 12 日 13:00-14:45 戦略論演習演習 1 橋本英樹・西田在賢  9 月 12 日 15:00-16:45 戦略論演習演習 2 橋本英樹・西田在賢  9 月 19 日 13:00-14:45 メディアリスク管理 1 演習 磯野敏和 9 月 19 日 15:00-16:45 メディアリスク管理 2 演習 磯野敏和 </p>		
教 科 書	特になし。		
参 考 書	資料を事前配布する。		
成績評価の方法	出席ならびにディスカッション参加 50%、レポート 50%		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>参加者は上限 4 名とし、医師・看護師・検査技師・病院事務などでの病院勤務有経験者(5 年以上)に限定する。なお希望が多い場合には事前に選考を行う。原則、すべての講義・演習への参加を必須とする。いずれも土曜日開講、場所は医学部附属病院南研究棟 3 階セミナー室 3。</p>		



科目名	臨床医学概論 [科目番号：41018126]		
タ ー ム	S 1	単 位 数	1
曜日・授業時間帯	木 2		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	康永 秀生		
授 業 の 目 的	非医師の学生向け。 臨床医学に関する基礎知識を身に着ける。 医学用語を習得し、医学論文を読むための基礎力を養う。		
授 業 の 方 法	系統講義を通じて、解剖・生理、診断・治療および疾患の疫学について要点を解説する。また、医学用語（日本語・英語）を解説し、基礎的な医学論文の読解を行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	1. 脳神経 (4/9)   2. 循環器・呼吸器 (4/16)   3. 消化器 (4/23)   4. 腎・泌尿器、生殖器 (5/7)   5. 感覚器、運動器(5/14)   6. 感染症、中毒、血液(5/21)   7. 内分泌・代謝、膠原病・アレルギー(5/28)   ※講義の順番は変更することあり		
教 科 書	なし (毎回、テーマ毎に資料が配布される)		
参 考 書	なし		
成績評価の方法	出席 50%、レポート 50%		
他の授業との関連・履修上の注意	特になし		

科 目 名	医学研究データマネジメントと CDISC 標準		[科目番号：41018127]
タ ー ム	A 1	単 位 数	1
曜日・授業時間帯	火 3		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	木内 貴弘		
授 業 の 目 的	<p>CDISC(Clinical Data Interchange Standards Consortium)標準は、治験電子申請用の臨床研究データと付随するメタデータの国際標準として策定され、治験に関しては米国と日本では規制当局により利用が強制されている。また臨床・疫学研究データの電子的収集・データマネジメント・統計解析・アーカイブ化等の全て場面で活用可能な形に拡張され、将来はアカデミアへの普及も確実視されている。日本では、国際標準の意義、役割、活用についての医学界の認識が不十分である。本講義では、CDISC 標準活用によるデータ、ソフト、研究業務の相互運用性の重要性を学ぶとともに、医学と情報学の学際的分野である臨床・疫学研究データマネジメントの実際に触れることを目的とする。</p>		
授 業 の 方 法	スライド、配布資料を用いて、講義及び質疑応答を行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>9月29日(火)13:00-14:45  I. 医学研究データマネジメント概論：臨床・疫学研究データマネジメントとは  宮路天平 (臨床試験データ管理学)   10月6日(火)13:00-14:45  II. CDISC 標準概論：CDISC 標準とは  木内貴弘、千葉吉輝 (Chiba プランニング)   10月13日(火)13:00-14:45  III. 症例報告書の標準化- CDASH / データ形式の標準化 - SDTM (Clinical Data Acquisition Standards Harmonization /Study Data Tabulation Model)  千葉吉輝 (Chiba プランニング)   10月20日(火)13:00-14:45  IV. データとメタデータ - Define.xml (CDISC Define.xml)  千葉吉輝 (Chiba プランニング)   10月27日(火)13:00-14:45  V. 解析データセットの標準化 - ADaM (Analysis Data Model)  山口拓洋 (臨床試験データ管理学)   11月10日(火)13:00-14:45  VI. CDISC 標準による治験の電子申請：日本における新薬承認申請の現状と展望  安藤友紀 (PMDA)   11月17日(火)13:00-14:45  VII. データ形式の標準化の実例 - SDTM  齋藤俊樹 (国立名古屋医療センター)  </p>		
教 科 書	教材として、スライドのハンドアウトを各回に配布する。また CDISC ホームページ ( <a href="http://www.cdisc.org/">http://www.cdisc.org/</a> ) を必要に応じ、参照すること。		
参 考 書	特に指定しない。		
成績評価の方法	出席(50%)及びレポート(50%)により総合的に評価する。		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>医学データの統計解析、医学研究のデザイン、疫学研究と実践、公共健康情報学、医療情報システム学と関係を有し、共に受講が望ましい。製薬会社の治験、医師主導の治験では CDISC 標準は PMDA からその利用が強制されていること、将来はアカデミックな領域でも症例報告書・調査票作成、データマネジメント、統計解析等を CDISC 標準にもとづいて実施するようになることが確実であることから、将来、生物統計、臨床試験、疫学、医療情報システムの研究・実務に従事する予定の学生には履修を強く推奨する。</p>		

科 目 名	がん疫学 [科目番号：41018128]		
タ ー ム	A 1	単 位 数	1
曜日・授業時間帯	水 3		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	井上 真奈美、橋本 英樹		
授 業 の 目 的	<p>「がんの疫学」について、専門家として必要な知識を体系的に習得する。集団レベルでのがんの予防をめざすには、その背景にあるがんの地理的分布や推移を把握した上で、予防に向けた要因の解明が必須である。具体的には、がん記述統計の必須基盤としてのがん登録手法、がんの要因を解明するための分析疫学研究、近年注目されているゲノム疫学手法、一つ一つの疫学的エビデンスを施策に結びつけるための橋渡し研究であるシステムティック・レビューやメタ・アナリシス、統合解析、エビデンスに基づくがん予防法やその普及実装のための研究、がん検診の考え方、について、国内外の状況や事例も網羅して、系統的に学ぶ。最終回には、課題として各自が選定したがん疫学関連トピックについてまとめたものを短時間で発表する。</p>		
授 業 の 方 法	講義、課題発表		
授 業 計 画 及 び 内 容 (各回のテーマ)	<p>1) 講義：がん疫学の概要、記述疫学（地理的分布、推移、がん統計）(9/30、3限) 2) 講義：がんの分析疫学研究によるエビデンス創出(10/7、3限) 3) 講義：施策に向けたがんの要因評価（リスク評価、系統的レビューとメタアナリシス、統合解析、疾患・要因負荷研究(10/14、3限) 4) 講義：がん疫学研究におけるゲノム疫学（10/28、3限）→後藤 5) 講義：がん予防の普及と実装のための研究（11/4、3限）→島津 6) 講義：がん検診、がん対策につなげた疫学事例（11/11、3限) 7) 課題発表（11/18、3限）  10/21は日本公衆衛生学会のため講義はなし </p>		
教 科 書	指定なし。		
参 考 書	<p>・ Adami HO et al (eds): Textbook of Cancer Epidemiology&amp;comma; 3rd Edition. Oxford University Press.   ・ 木原雅子他訳&amp;comma; 健康行動学:その理論、研究、実践の最新動向. メディカル・サイエンス・インターナショナル (第 16 章)   ・ Chambers DA&amp;comma; et al. eds.&amp;comma; Advancing the Science of Implementation across th</p>		
成績評価の方法	講義出席（60%）、課題発表と発表資料（要提出）（40%）		
他の授業との関連・履修上の注意	疫学の基礎が理解できていること。		

科 目 名	精神保健学 I [科目番号：41018211]		
タ ー ム	S1S2	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	火 5		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	川上 憲人、西 大輔		
授 業 の 目 的	精神保健の疫学や方法論を踏まえた上で、精神保健に関する課題の対策を科学的根拠に基づいて立案するための知識・技術を習得することを目的とする。具体的には、精神保健の疫学や方法論を体系的に理解し説明できること、精神保健の第一次・第二次・第三次予防の科学的根拠の現状について説明できること、グループのメンバーとの協働およびリーダーシップのあり方を学びつつ課題に即した精神保健対策を立案できることを到達目標とする。		
授 業 の 方 法	各回1つのテーマについて担当教員（または外部講師）による講義と討議、質疑を行う。学生は各回の課題について事前に調べ持参する。課題発表1および2の回では、学生がグループでテーマに関して発表し、これに担当教員が補足を行い、全員で討論する。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4/7 オリエンテーション・総論 (川上、西)   4/14 精神疾患の疫学 (西)   4/21 精神健康とその評価 (西)   4/28 精神保健サービスの利用 (西)   5/5 (祝日)   5/12 トラウマと災害精神保健 (西、宮本)   5/19 認知行動療法に基づいたアプローチ (今村、西)   5/26 生活習慣に基づいたアプローチ (西)   6/2 課題発表1 科学的根拠に基づく精神保健対策 (学生による発表)   6/9 自殺予防対策はどう進めるか (本橋豊)   6/16 認知症ケアの質を改善する (中西三春)   6/23 発表準備 (学生による自習)   6/30 薬物対策に何が必要か (松本俊彦)   7/7 発表準備 (学生による自習)   7/14 課題発表2 科学的根拠に基づく精神保健対策を立案する (学生による発表)		
教 科 書	教科書は指定しない。毎回、講義資料を配付する。		
参 考 書	特になし		
成績評価の方法	出席 (30%)、毎回の事前学習 (10%)、課題発表2 (30%)、個人レポート(30%)により総合的に評価する。		
他の授業との関連・履修上の注意	最終回のみ授業時間が 16:50-19:30 となるので注意すること。		

科目名	精神保健学Ⅱ			[科目番号：41018212]
タ	A1A2	単	位	数
曜日・授業時間帯	火 5			
場	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室			
担 当 教 員	川上 憲人			
授 業 の 目 的	<p>職場のメンタルヘルスの専門職として必要とされる知識・技術を、講義および事例研究とその後の討論によって習得することを目的とする。具体的には、職場のメンタルヘルスの専門職として必要とされる知識・技術(制度・法規、利用者の状態および特性を踏まえた対応、関連職種間の連携、近年の社会経済情勢を踏まえた対策、等)を体系的に理解し説明できる、および産業精神保健の現場で具体的な対策を提案・推進ができるし、パブリックヘルス・マインドを持って産業精神保健を実践できる能力を養成する。</p>			
授 業 の 方 法	各回1テーマの講義あるいは事例研究(ケーススタディ) 担当教員(または非常勤講師)による講義と全員での討論。			
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>9 / 29 コース概要、産業精神保健総論(川上憲人) 10 / 6 産業保健マネジメントの中でのメンタルヘルス対策(森 晃爾) 10 / 13 職場のいじめとメンタルヘルス(津野香奈美) 10 / 20 労働者の睡眠とメンタルヘルス(高橋正也) 10 / 27 職場のメンタルヘルスの一次予防①(今村幸太郎) 11 / 10 労働者の復職支援プログラム(有馬秀晃) 11 / 17 組織・個人の活性化とポジティブメンタルヘルス(島津明人) 11 / 24 職場のメンタルヘルスの一次予防②(渡辺和広・櫻谷あすか) 12 / 1 職場のメンタルヘルスと両立支援(江口 尚) 12 / 8 メンタル不調者対応の基本的な枠組み・専門職が留意すべきこと(難波克行) 12 / 15 経営と産業保健は協調できるか?(北居 明) 12 / 22 健康経営と職場のメンタルヘルス(古井祐司) 1 / 5 これからの職場のメンタルヘルス(川上憲人)</p>			
教 科 書	毎回、講義資料を配付する。			
参 考 書	川上憲人. 基礎からはじめる職場のメンタルヘルス—事例で学ぶ考え方と実践ポイント. 大修館&comma; 2016			
成績評価の方法	出席(30%)、レポート(70%)により評価する。			
他の授業との関連・履修上の注意	精神保健疫学と対策の基礎について学ぶ「精神保健学Ⅰ」を受講していることが望ましい。平成29年度学生授業評価アンケートをもとに、授業の目的がより明確になるようにシラバス上に記載した。			

科 目 名	健康教育学 [科目番号：41018213]		
タ ー ム	A 2	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	金 1&comma; 金 2		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	橋本 英樹		
授 業 の 目 的	<p>生活習慣・健康行動変容に関する理論を講義でまず鳥瞰した後、各理論のフレームを用いて実践的プログラム立案を行う上での長所・短所・限界点をクラス内ディスカッション・レポートで深める。 This lecture course will provide a quick review of behavioral theories related to health intervention&amp;comma; by applying them to case scenarios. Then&amp;comma; invited lecturers will provide &amp;quot;real world practice&amp;quot; examples for health promotion&amp;comma; with emphasis on marketing&amp;comma; empowerment approach&amp;comma; media message design&amp;comma; and community building. Each frame of theories will be critically discussed for their strength and weakness to help integration of existing frames to facilitate effective health promotion in the community/workplaces.</p>		
授 業 の 方 法	Lecture&comma; in-class discussion with case scenario   講義、グループディスカッション、ケースメソッドなどを組み合わせる。		
授 業 計 画 及 び 内 容 (各回のテーマ)	11/20 1) 1 限 Micro-meso level theories of behavioral science (橋本)   11/20 2) 2 限 Macro level theories of behavioral science applied (橋本)   11/27 3) 1 限 Micro-meso level theories of behavioral science applied (橋本)   11/27 4) 2 限 Macro level theories of community organization applied (橋本)   12/4 5) 1 限 Empowerment approach in community I (岩永)   12/4 6) 2 限 Empowerment approach in community II (岩永)   12/11 7) 1 限 Public message design for health promotion I (林)   12/11 8) 2 限 Public message design for health promotion II (林)   12/18 9) 1 限 Health marketing in workplace I (戸津崎)   12/18 10) 2 限 Health marketing in workplace II (戸津崎)   12/25 11) 1 限 Social marketing through social network intervention (鎌田)   12/25 12) 2 限 Public intervention for community health (馬場)   1/8 休講 (SPH 課題研究発表会)   1/15 13) 1 限 Health Literacy revisited (橋本)   1/15 14) 2 限 Decision making and behavior (橋本)		
教 科 書	handouts and reading materials will be distributed beforehand&comma; a week ahead.&comma; Students are strongly encouraged to read materials beforehand to effectively join in-class discussion.		
参 考 書	Glanz K&comma; et al. Health Behavior and Health Education; Theory&comma; Research and Practice. 4th eds. John Wiley and Sons&comma; 2008   畑 栄一&comma; 土井 由利子. 行動科学—健康づくりのための理論と応用. 南江堂 第 2 版 :他、適宜配布		
成 績 評 価 の 方 法	Class attendance and in-class discussion/questions are counted as in-class contribution that shares 60% of score evaluation&comma; the rest of 40% will be evaluated based on one term paper (short).   出席ならびに講義中発言/ディスカッション参加(60%)・課題およびレポート(40%)		
他 の 授 業 と の 関 連 ・ 履 修 上 の 注 意	積極的発言・参加を高く評価する. 講義中以外 (休み時間) の質問は原則受け付けない Main lecturers could present both in Japanese and English&comma; depending on the		

	student's Japanese literacy. However, invited speakers mainly provide materials and presentation only in Japanese. Intra-class discussion preferably requires a level o
--	---

科 目 名	健康社会学	[科目番号：41018214]	
タ ー ム	A 1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	金 1&comma; 金 2		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	橋本 英樹、高木 大資		
授 業 の 目 的	<p>社会学を基本軸として、健康を社会的文脈で考察する知的基盤を提供する。具体的には社会学理論を鳥瞰したうえで、健康科学との接点として医療・医師・社会的健康決定要因などを題材として取り扱う。 Will provide sociological theory basis to consider health in social context rather than in bio-medical frame. Specific focus will be put on themes such as social stratification and health&amp;comma; health impacts of built environment and social environment&amp;comma; medicalization and clinical gaze&amp;comma; and sociology of body/embodiment.</p>		
授 業 の 方 法	lecture and in-class discussion   Strongly encourage to read materials beforehand to prepare for in-class discussion		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>9/25 1) 1 限 Perspective of sociology and health sociology (橋本)   9/25 2) 2 限 Social stratification and socioeconomic status (橋本)   10/2 3) 1 限 Social stratification and health (橋本)   10/2 4) 2 限 Social relationship and health (杉澤)   10/9 5) 1 限 Sociology of community applied to health (高木)   10/9 6) 2 限 Social network analysis (高木)   10/16 7) 1 限 Lay perspective of health and disease/ Illness behavior (橋本)   10/16 8) 2 限 Complementary/alternative healthcare (中山)   10/23 公衆衛生学会のため休講   10/30 9) 1 限 Medicine as a social control institution (橋本)   10/30 10) 2 限 Social and inner experience of people having chronic illness (橋本)   11/6 11) 1 限 World of medicine; archeological perspective (橋本)   11/6 12) 2 限 World of chronically ill; phenomenological view (橋本)   11/13 13) 1 限 Body sociology and embodiment (橋本)   11/13 14) 2 限 open discussion</p>		
教 科 書	handouts and reading materials will be distributed beforehand&comma; a week ahead.		
参 考 書	Lupton D. Medicine as culture; illness&comma; disease&comma; and the body. 2nd eds. SAGE&comma; 2003   他、適宜配布		
成績評価の方法	class attendance and in-class discussion/questions count 40% of score as in-class contribution. Report share 60% of score evaluation. 出席ならびに講義中発言(40%)・課題およびレポート(60%)		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>In-class discussion/questions will be counted as contribution for score.   The class can be provided in English and Japanese&amp;comma; depending on the students's linguistic needs.</p> <p>For further information&amp;comma; contact at dtakagi-utokyo@umin.ac.jp (Takagi) or hidehashimoto-circ@umin.ac.jp (Hashimoto)</p>		



科目名	医療倫理学 I [科目番号：41018218]		
ターム	S 1	単位数	2
曜日・授業時間帯	木 6&comma; 木 5		
場所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	赤林 朗、瀧本 禎之、中澤 栄輔		
授業の目的	公衆衛生領域の政策決定や臨床現場における倫理的判断の基礎となる倫理・哲学的な考え方を学ぶ。医療倫理学総論、インフォームド・コンセント、研究倫理などを取り上げ、全体講義と少人数討論 (ディベート) を行う。学生は、講義を聴講するとともに、レポートを提出することが求められる。		
授業の方法	各回、最初に全体講義を行い、当該テーマに関する必要知識を教授する。さらに、当該知識を実践に活用するための訓練として、少人数のグループに分かれ、用意した課題に関してディスカッションを行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	(1) 生命・医療倫理学とは / 倫理学の基礎 1   (2) 倫理学の基礎 2 / 医療倫理の原則と重要概念   (3) 臨床症例の倫理的検討法   (4) ケアの倫理 / 生殖補助医療   (5) IC の法理 / 終末期医療   (6) 守秘義務 / 研究倫理   (7) 模擬倫理委員会		
教科書	印刷物を配布する		
参考書	・ 赤林朗 (編著) 『入門・医療倫理 I』 [改訂版] 勁草書房   ・ Jonsen&comma; A.R. et al. 著 (赤林、蔵田、児玉監訳) 『第 5 版臨床倫理学—臨床医学における倫理的決定のための実践的なアプローチ』 新興医学出版   ・ 赤林朗編著 『ケースブック 医療倫理』 医学書院   ・ Hope&comma; T. 著 (児玉聡・赤林朗訳) 『一冊で分かる医療倫理』 岩波書店		
成績評価の方法	平常点 (30%)、及び最終レポート (70%) により評価する。		
他の授業との関連・履修上の注意	「医療倫理学特論 II」受講の基礎となる内容である。		

科目名	医療倫理学Ⅱ			[科目番号：41018219]
タ	S 2	単	位	数
曜日・授業時間帯	木 5&comma; 木 6			
場	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室			
担	瀧本 禎之、中澤 栄輔			
授	公衆衛生倫理と臨床倫理コンサルテーションの 2 つの領域に関して実践的な知識を涵養するために、全体講義と少人数討論 (ディベート) を行う。学生は、講義を聴講するとともに、レポートを提出することが求められる。			
業	各回、最初に全体講義を行い、当該テーマに関する必要知識を教授する。さらに、当該知識を実践に活用するための訓練として、少人数のグループに分かれ、用意した課題に関してディスカッションを行う。			
の				
目				
的				
授				
業				
の				
方				
法				
授				
業				
計				
画				
及				
び				
内				
容				
(				
各				
回				
の				
テ				
マ				
)				
教				
科				
書	印刷物を配布する。			
参				
考				
書	・ 赤林朗(編著)『入門・医療倫理Ⅰ』勁草書房   ・ Jonsen&comma; A.R. et al. 著 (赤林、蔵田、児玉監訳)『第 5 版臨床倫理学—臨床医学における倫理的決定のための実践的なアプローチ』新興医学出版   ・ 赤林朗編著 『ケースブック 医療倫理』 医学書院   ・ Hope&comma; T. 著 (児玉聡・赤林朗訳)『一冊で分かる医療倫理』岩波書店			
成				
績				
評				
価				
の				
方				
法	平常点 (30%)、及び最終レポート点数 (70%) により評価する。			
他				
の				
授				
業				
と				
の				
関				
連				
・				
履				
修				
上				
の				
注	医療倫理学Ⅰ の内容を前提とする。			

科目名	社会と健康 I [科目番号：41018220]		
タ ー ム	A 1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	木 2&comma; 木 1		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	近藤 尚己、川上 憲人、橋本 英樹		
授 業 の 目 的	健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health: SDH) へアプローチする公衆衛生活動が世界的な潮流となりつつある。本コースでは SDH にアプローチする公衆衛生対策・健康格差対策を実践していくための基礎となる理論とエビデンスについて学ぶ。社会疫学の基本的な考え方についてのレクチャーの後、関連諸分野の最前線で研究を行う講師がオムニバス形式で講義を行う。SDH に関連する実証研究を進めるために必要な因果推論技法の基礎も扱う。多様なバックグラウンドを持つ学生の参加を期待する。		
授 業 の 方 法	事前配布資料・講義とクラスディスカッション・レポート課題からなる。各講義に関する指定テキストの該当章、および事前配付資料はその概要を把握していることを前提として講義を進める (初日の 2 回分の講義以外)。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	スケジュール   1) 社会疫学概論 (近藤) 10/1 1 限 2) 社会と健康をつなぐ疾病論の歴史的考察 (橋本) 10/1 2 限 3) 社会経済状況 (近藤) 10/8 1 限 【レポート課題あり】 4) マクロな社会環境：景気動向・所得格差 (近藤) 10/8 2 限 【レポート課題あり】 5) 社会関係 (近藤) 10/15 1 限 6) ソーシャル・キャピタル (近藤) 10/15 2 限 【レポート課題あり】 7) 職業性ストレス・差別 (川上) 10/29 1 限 8) 健康の平等と倫理 (児玉) 10/29 2 限 9) 胎児期からの社会環境：ライフコース疫学 (藤原) 11/5 1 限 10) ジェンダーの健康影響 (本庄) 11/5 2 限 11) 社会疫学の因果推論技法 (近藤) 11/12 1 限 【レポート課題あり】 12) 健康格差の制御方法 (近藤) 11/12 2 限  各回の内容は後述。講師の都合により日時変更の可能性あり。		
教 科 書	川上憲人・橋本英樹・近藤尚己 (編著)「社会と健康: 健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ」東大出版会		
参 考 書	1. 近藤尚己 (著)「健康格差対策の進め方: 効果をもたらす 5 つの視点」医学書院  健康格差対策の基礎から実践まで、5 つの視点からまとめたテキスト。 2. Berkman&comma; Kawachi&comma; Glymour. Social epidemiology 2nd edition: 邦訳: 社会疫学 (上・下)   社会疫学についてさらに包括的に学びたい人へ向けた、発展的なテキスト。		
成績評価の方法	出席および授業中のディスカッション 40% レポート 60% クラス内でのディスカッションは授業の大切な要素である。出席および授業中の発言回数やその内容を評価対象とする。  レポートについて * A4 一枚程度とし、最大 2 枚まで。 * 提出先: 医学部 3 号館 3 階 S310: 近藤研究室 あるいはメールで後述の問い合わせ窓口まで * 締切: 各講義日の 1 週間後の正午 * 課題名・氏名・学籍番号・提出日を明記すること * 事実関係やデータ、フレーズ等引用した場合、必ず引用データの出所を示すこと。引用下資料のリストは最		
他の授業との関連・履修上の注意	講義内容については各講師に直接問い合わせること。 「社会と健康 II」では、本コースを基礎として、健康の社会的決定要因に関する知見をどのようにパブリック・ヘルスへ応用するか、健康格差の課題へどう対応するかについて実践的に学ぶ。  講義内容  1) 社会疫学概論 (近藤)  テキスト: 序章、13 章 概要: コースの全体像を紹介する。また、社会疫学の主な概念について解説する。健康を決定する		

	社会的要因の構造や様々な政策との関連について概観する。   2) 社会と健康をつなぐ疾病論の歴史的考察 (橋本)   テキスト：序章、第 1 章   概要：疾病が発生するメカニズムは、歴史的に見た場合
--	--

科 目 名	社会と健康 II	[科目番号：41018221]
タ ー ム	A 2	単 位 数 2
曜日・授業時間帯	金 4&comma; 金 3	
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室	
担 当 教 員	近藤 尚己、高木 大資	
授 業 の 目 的	<p>ヘルスプロモーション施策、とりわけ社会環境要因にアプローチする方法の理論と実践法を学ぶ。「健康の社会的決定要因」と「健康格差」に特に着目し、そのメカニズムと制御方法、測定法も扱う。講義では受講者による発表や演習を積極的に取り入れる。関連する理論のうち、疾病予防における high risk strategy &amp; population strategy、population strategy の亜型である vulnerable population approach&amp;comma; proportionate universalisms&amp;comma; redistributive policy 等を扱いつつ、健康格差是正に資するアプローチの実際を学ぶ。また、地域社会での実践に関連して、community empowerment&amp;comma; community organizing&amp;comma; social prescribing、地域包括ケア、地域共生社会などを扱う。近年注目されるこども食堂や生活困窮世帯の子どもへの学習支援など、市民による社会包摂の取り組みとの関連やその在り方についても批判的に検討(critique)する。</p>	
授 業 の 方 法	<p>講義・討論・レポート・課題発表  &lt;講義内容&gt; 1・2) 健康の社会的決定要因および健康格差対策の基本概念 概要：社会環境を改善することにより社会全体の健康を達成しようとする動きが活発になってきている。世界保健機関 (WHO) の健康の社会的決定要因に関する特別委員会の声明 (2008) に続き、日本でも、国民の健康推進プラン「健康日本 21 (第2次)」の目標に「健康格差の縮小」が加わった。本講義では、具体的にどのような健康格差対策を進めるかについて、豊富な事例とともに、理論的な枠組みを学ぶ。(「社会と健康 I」)</p>	
授 業 計 画 及 び 内 容 (各回のテーマ)	<p>&lt;スケジュール&gt; 1・2) 健康の社会的決定要因および健康格差対策の基本概念 11/27 3・4 限 【レポート課題あり】 3・4) 連携とガバナンス 12/4 3・4 限 5・6) 地域診断データ活用と合意形成理論 12/11 3・4 限 7) 行動科学とソーシャル・マーケティングの応用 (鎌田) 12/18 3 限  8) 構築環境 (built environment) と健康 (高木) 12/18 4 限 9) ヘルスコミュニケーションによる健康格差対策 (石川) 12/25 3 限 10) 生活困窮者・マイノリティ支援 (近藤) 12/25 4 限 11・12) 特別講義：健康影響予測評価(HIA)演習* (藤野) 1/15 3 限・4 限 13・14) 課題発表 1/22 3・4 限 【レポート課題あり】 *1月15日の特別講義は演習形式です。聴講可能ですので、希望者に呼びかけてください</p>	
教 科 書	<p>近藤尚己 (著)「健康格差対策の進め方：効果をもたらす5つの視点」(医学書院) に準じて解説する。必須ではない。</p>	
参 考 書	<p>1. 近藤尚己 (著)「健康格差対策の進め方：効果をもたらす5つの視点」(医学書院)  2. 藤野善久・近藤尚己・竹内綾乃 (著)「保健医療従事者のためのマルチレベル分析活用ナビ」診断と治療社 (2013)  3. 川上憲人・橋本英樹・近藤尚己 (編著)「社会と健康 健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ」東大出版会 (2015)  </p>	
成 績 評 価 の 方 法	<p>出席と態度(30%)・レポート(40%)・課題発表 (30%)</p>	
他 の 授 業 と の 関 連 ・ 履 修 上 の 注 意	<p>「社会と健康 I」に出席することが望ましい。健康教育学・健康社会学・医療コミュニケーション学などに関連する。公共政策大学院との合同開講。 アンケート結果を受け、グループディスカッションの時間をさらに増やし活発に意見交換</p>	

	できるようにした。
--	-----------

科 目 名	産業保健の理論と実践 [科目番号：41018222]		
タ ー ム	A 1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	水 2&comma; 水 1		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	川上 憲人、大久保 靖司		
授 業 の 目 的	<p>産業保健について最近の動向と国際的視点についてのアップデートな情報を講義すると同時に、演習を通じて産業保健を職場で遂行するための理論的背景の理解及び実践的技術の基礎を習得することを目的とする。特に、演習では、産業保健の計画と評価、事例分析及び参加型職場改善手法と取り上げており実践的な技術を習得することができる。また、課題を提示し、課題に対する企画立案を行う <b>Project based learning</b> を行い、その結果のプレゼンテーションまでを行うことでプロジェクト遂行のために必要な技術を修得する。本科目においては、産業保健の基礎的な学習を修了していない者も第 1 回の産業保健関連法制度・産業保健総論を受講することで必要な基礎知識を修得することができる。 </p>		
授 業 の 方 法	<p>担当教員および外部講師によるその時点におけるトピックスに関する講義 事例検討等による実践的学習 <b>Project Based Learning</b> による演習 </p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>9/30 第 1 回 産業保健関連法制度・産業保健総論 (大久保靖司)   第 2 回 産業保健の動向と国際的広がり (小木和孝 労働科学研究所)   10/ 7 第 3 回 産業保健と雇用 (矢野栄二 帝京大学)   第 4 回 産業保健のマネジメント (森晃爾 産業医科大学)   10/14 第 5 回 有害作業のリスク管理 (甲田茂樹 労働安全衛生総合研究所)   第 6 回 産業保健と倫理 (杉森裕樹 大東文化大学)   10/21 第 7 回 産業保健活動の評価 (山本健也 東京大学)   第 8 回 産業保健と健康リスク管理 (立道昌幸 東海大学)   10/28 第 9 回 産業保健活動における感染症対策 (柳元伸太郎 東京大学)   第 1 0 回 演習：産業保健の計画と評価 (山本健也 東京大学)   11/ 4 第 1 1 回 演習：産業保健の事例分析 I (大久保靖司)   第 1 2 回 演習：産業保健の事例分析 II (大久保靖司)   11/ 11 第 1 3 回 演習：参加型職場環境改善 I (吉川徹 労働安全衛生総合研究所)   第 1 4 回 演習：参加型職場環境改善 II (吉川徹 労働安全衛生総合研究所)   11/18 第 1 5 回 演習：課題発表 I (川上憲人、大久保靖司)   第 1 6 回 演習：課題発表 II (川上憲人、大久保靖司)  </p>		
教 科 書	指定しない。		
参 考 書	指定しない		
成績評価の方法	出席(40%)、課題発表及びレポート(60%)		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>特になし 精神保健学Ⅱ、健康危機管理学、環境健康医学と関連する。</p>		

科目名	保健医療人材育成学			[科目番号：41018223]
タ ー ム	S 1	単 位 数	2	
曜日・授業時間帯	火 2&comma; 火 1			
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室			
担 当 教 員	大西 弘高			
授 業 の 目 的	保健医療分野における人材育成とは、地域や国における保健・医療のニーズに対し、医療人材育成やその制度の開発によって、改善するプロセスである。この科目では、学習や教育に関する理論、カリキュラム開発、プログラム評価、インストラクショナル・デザインの考えを理解しつつ、自らコースや授業を組み立て、評価できるような能力を培うことを目的とする。			
授 業 の 方 法	毎回アクティブラーニングを含めた授業を展開する。プロジェクト発表は、①学生が他の学生の前でプレゼンテーション、②プロジェクト発表について振り返った後、レポートを提出、の両方を評価する。			
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4月7日 医療人材育成とは、ワークショップとワールドカフェ 4月14日 講義技法、インストラクショナル・デザイン 4月21日 プロジェクト発表1 (講義技法の演習) 4月28日 臨床教育の改善 (技法・管理)、メンタリングとプリセプティング 5月12日 カリキュラム開発：6ステップアプローチを用いて 5月19日 医療者教育のトピックス：多職種連携教育、テクノロジーを用いた教育 5月26日 プロジェクト発表2 (経験してきた教育の改善案) 6月2日 レポート提出締切			
教 科 書	特になし			
参 考 書	Kern ら「医学教育プログラム開発」、Harden ら「医学教育を学び始める人のために」、は参考になる。			
成績評価の方法	出席 (20%)、プロジェクト発表 (40%)、振り返りレポート (40%)			
他の授業との関連・履修上の注意	医学部総合中央館 (医学図書館) 3FM1 室で実施します。部屋は 8:20 に開けます。動きやすい服装でお越しください。なお、履修希望ではあるものの、新型コロナウイルス感染症へのリスク等を考慮し、対面授業に懸念を感じる方がおられれば、対応を検討しますので、予めご連絡ください。			



科目名	学習者評価学 [科目番号：41018224]		
ターム	A 1	単位数	2
曜日・授業時間帯	火 2&comma; 火 1		
場所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	大西 弘高		
授業の目的	<p>学習者評価は、人材育成、研修、教育などを行った後に、学習が想定したように行われたかを確認するために行う教育的に非常に重要な活動の一つです。保健医療領域の人材育成、医療者教育において、学習者評価の手法は近年ますます多様化し、適切な方法を選択し、組み合わせることは複雑な取り組みになりつつあります。この授業では、保健医療領域の学習者評価に関して様々な側面から最新の理論を提示すると共に、そのデータをプログラム評価や研究に用いることも想定し、適切な評価手法の組み合わせ方、データの信頼性・妥当性といった側面に関して論じることができるレベルを目指します。</p>		
授業の方法	<p>毎回テーマに応じた講義とグループディスカッション、コンピュータ上で行うデータ解析の作業。課題発表など。</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>9月29日 ①保健医療領域の学習者評価概論、②コンピテンシー基盤型教育と評価   10月6日 ①項目反応理論 (IRT)、②評価データの処理方法、③筆記試験と MCQ の項目分析   10月13日 ①臨床能力の評価、OSCE、②単項目の信頼性、③合否判定基準設定   10月20日 ①一般化可能性理論   10月27日 ①入学試験、②医学教育研究、③業務基盤型評価 (WBA)   11月10日 各自の課題発表、その後振り返りレポート提出   11月17日 予備日</p>		
教科書	特になし		
参考書	特になし		
成績評価の方法	出席 (20%)、プロジェクト発表 (40%)、振り返りレポート (40%)		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>Microsoft Excel、またはそれに類した表計算ソフトウェアの入ったコンピュータ持参が必須です。医学部総合中央館 (医学図書館) 3FM1 室で実施します。部屋は 8:20 に開けます。なお、履修希望ではあるものの、新型コロナウイルス感染症へのリスク等を考慮し、対面授業に懸念を感じる方がおられれば、対応を検討しますので、予めご連絡ください。</p>		

科 目 名	健康医療政策学	[科目番号：41018311]	
タ ー ム	A1A2	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	月 5		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	小林 廉毅、豊川 智之		
授 業 の 目 的	疾病予防対策、医療保険制度、医療提供体制、医療評価など、種々の健康・医療に関わる制度・政策の背景並びに立案・実施、報道、社会への影響について、様々なステークホルダーの立場、関連の法令、費用負担のあり方などを学習するとともに、実際の事例を通じて理解を深める。		
授 業 の 方 法	講義、ゲストスピーカーによる報告、質疑応答・討論などによる。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	① 9/28 健康医療政策とはなにかーイントロダクション (小林)   ② 10/5 地域医療構想の実現に向けたデータの活用 (ゲストスピーカー) (小林)   ③ 10/12 医療の質の測定 (東)   ④ 10/26 科学的根拠に基づく政策 (がん対策) (東)   ⑤ 11/ 2 わが国の喫煙対策をめぐる議論 (ゲストスピーカー) (小林)   ⑥ 11/9 特定健診・保健指導の現状と課題 (李)   ⑦ 11/16 (4 時限 14:55-16:40) 特別講義 (馬場園講師)   ⑧ 11/16 (5 時限 16:50-18:35) 〃 ( 〃 )   ⑨ 11/30 医療行政の現場 (ゲストスピーカー) (小林)   ⑩ 12/7 医療へのアクセスと医療政策 (豊川)   ⑪ 12/14 日本における医療政策決定過程ーメディアからの視点   ⑫ 12/21 (4 時限 14:55-16:40) 政策課題プレゼンテーション(1) (学生)   ⑬ 12/21 (5 時限 16:50-18:35) 政策課題プレゼンテーション(2) (学生)   ⑭ 1/18 (予備日)		
教 科 書	なし		
参 考 書	「国民衛生の動向」(厚生統計協会)		
成績評価の方法	出席 (約 60%)、授業でのプレゼンテーション・ミニレポート (約 40%) に基づいて評価する。		
他の授業との関連・履修上の注意	11/16 および 12/21 については、4 時限にも授業を予定している。  聴講者、他学部聴講者については初回授業でその旨を責任教員に伝えること。		

科 目 名	医療情報システム学 [科目番号：41018312]		
タ ー ム	S 1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	金 4&comma; 金 3		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	大江 和彦		
授 業 の 目 的	<p>現在の医療が抱える課題を IT による解決していくにはどうしたらよいかについて理解し、臨床的なエビデンスや医療変革のための知見を得るための基盤情報システムとしての電子カルテやレセプトなどの医療情報データベースの意義と課題を理解する。また医療情報がどのように医療サービスシステムの中で管理・活用されるべきかについて議論する。こうしたことを通じて現在の医療システムの変革につなげる方策と制度との関連性を学ぶ。また医療データを扱う上で避けて通れないデータのコーディングと標準化の重要性、暗号化を含むセキュリティー技術についても理解する。さらに人工知能技術 (AI) とりわけ機械学習と深層学習についてその基本的な手法と医療データへの適用に関する展望と課題を学ぶ。</p>		
授 業 の 方 法	<p>医療サービスやそれに関わる医療 IT 政策、地域医療におけるフィールド実証実験に関するテーマを順にとりあげ、それぞれにおいて医療情報システム、データベース、情報通信技術 (IT)、法令や制度がどのように関わり、課題と関連しているかについて講義し、議論する。</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>4 月 10 日 (初回) に全体の授業計画を説明する。全体は 13 コマからなる。各回のテーマを入れ替えることがあり、下記のテーマ順序はおおよその例示である。 ※新型コロナウイルス感染症の状況次第では、講義を講義室での集合形式ではなく、リアルタイム Web 参加形式で実施することがある。履修上の注意を参照のこと。 1) 4 月 10 日 2 コマ 医療情報化政策と関連する情報技術基盤、制度の概要 2) 4 月 17 日 2 コマ 電子カルテシステム、医療情報の標準化 3) 4 月 24 日 2 コマ モバイル IT 医療のインパクト 4) 5 月 1 日 2 コマ 情報ネットワーク技術と個人情報保護 5) 5 月 8 日 2 コマ 地域医療情報連携と診療情報管理 6) 5 月 15 日 2 コマ 医療における高度情報処理—人工知能技術の応用 7) 5 月 22 日 1 コマ 試験</p>		
教 科 書	<p>・医療情報 情報処理技術編 (篠原出版新社)   ・医療情報 医療情報システム編 (篠原出版新社)   ・内閣官房高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部 (IT 総合戦略本部) HP</p>		
参 考 書	<p>Biomedical Informatics: Computer Applications in Health Care and Biomedicine   Editors: Shortliffe&amp;comma; Edward H.&amp;comma; Cimino&amp;comma; James J. (Eds.) Springer; 4th ed. 2014 版   SBN-10: 1447144732   ISBN-13: 978-1447144731</p>		
成績評価の方法	<p>出席率 30%、試験点数 70%の比重で総合的に判定する。</p>		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>※新型コロナウイルス感染症の状況次第では、講義を講義室での集合形式ではなく、リアルタイム Web 参加形式で実施することがある。 医療情報システム学教室の HP <a href="http://www.m.u-tokyo.ac.jp/medinfo/">http://www.m.u-tokyo.ac.jp/medinfo/</a> のトップページの案内を毎講義前日に確認すること。 保健医療経済学：医療経済学的観点で医療情報システムを理解する上で関連性を有する。 公共健康情報学：健康をとりまく種々の公共情動的側面を知るうえで、関連性が強く、同時に受講することが望ましい。 臨床疫学：医療情報システムから収集され</p>		

科 目 名	医療情報システム学実習 [科目番号：41018313]		
タ ー ム	S 2	単 位 数	1
曜日・授業時間帯	木 2&comma; 木 1		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	大江 和彦		
授 業 の 目 的	医療情報システム学教室で開発し研究者に提供している多目的臨床症例登録システム MCDRS (マックドクターズ) やリレーショナル・データベースを使って研究管理者として疾患登録システムを稼働させ、臨床症例を登録する実習を通して、医療データベースの考え方、電子カルテシステムとのデータ連携の手法、医療情報の標準化、クラウド上と医療機関上のネットワークの違い、データベース変換など医療情報システムを臨床や研究で活用していく基本的な技法と実践的知識を身につける。またファイルの暗号化等々の技術的な仕組み、仮想化システムの仕組みを体験する。		
授 業 の 方 法	医療情報システム学教室で開発し研究者に提供している多目的臨床症例登録システム MCDRS (マックドクターズ) 使って研究管理者として疾患登録システムを稼働させ、臨床症例を登録する実習を行う。 後半はリレーショナル・データベースの構築と操作をおこない、簡単な自然言語処理の入門的実習を行う。 (プログラミング技術を身につける実習はしない。) 各自のノートパソコン持参して実習する。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	初回年 6 月 11 日 (木) 計 7 日 14 コマ   6 月 11, 18, 25, 7 月 2, 9, 16, 23 日   【★初回 1 限冒頭の遅刻厳禁. コンピュータを使った実習方法を毎回歩調を全員で合わせて説明するため一人が遅刻するとあとでその人のために教員リソースを割く必要が生じ, 他の皆が迷惑します.】   6 月 11, 18, 25 日   特定の疾患に各自がフォーカスを絞り, 多目的臨床症例登録システム MCDRS を使って My 症例データベースを作ることによって種々の医療情報技術や標準化技術を習得する。  1) 対象疾患の決定と登録すべき項目の決定   2) 登録項目シートの作成   3) Web 版多施設症例登録システムを自分でインターネット上に稼働させる。  4) 試験的な患者登録を行う。相互症例登録実験   7 月 2 日 - 16 日 (予定) リレーショナル・データベース構築と SQL 言語によるデータ検索   7 月 23 日 簡単な自然言語処理 (形態素解析) の体験		
教 科 書	パソコンは各自所有のノート PC の使用を原則とするが、所有していない場合には   当方で用意し実習期間中は貸与する。各自のノート PC で実習する関係で事前に希望者は申し出て PC 機種情報を申告する。実習パソコンでは Web ブラウザとエクセルが使える必要がある。各自にそれ以上のパソコンスキル, プログラミングスキルは不要である。		
参 考 書	多目的臨床症例登録システム MCDRS のホームページ資料 ( <a href="http://mcdrs.jp">Http://mcdrs.jp</a> )		
成績評価の方法	出席状況 (60%)、出来上がりデータベース等 (40%) を総合的に評価する。		
他の授業との関連・履修上の注意	医療情報システム学講義を受講しているほうが実習を理解しやすい。		

科目名	法医学・医事法学			[科目番号：41018316]
タ	S1S2	単	位	数
ム				2
曜日・授業時間帯	月 3			
場	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室			
所				
担当教員	岩瀬 博太郎、榎野 陽介			
授業の目的	法医学とは法が適正に執行されるべく医学的な助言を行うための学問である。すなわち、国民の安全や権利を守るための医学といえる。法医学は死因究明のほか、虐待を受けた小児等の保護も業務として実施しているが、本講義ではそうした法医学の目的や業務を理解することを目的としている。			
授業の方法	座学による講義のほか、適宜解剖などの見学を行う予定である。			
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	①法医学総論 1 ②法医学総論 2 ③死因究明制度 1 ④死因究明制度 2 ⑤虐待と乳幼児死亡 ⑥法医画像診断学 ⑦法中毒 1 ⑧法中毒 2 ⑨法歯科 ⑩法遺伝学 ⑪災害における法医学 ⑫法医学における最近の話題 ⑬診療関連死 なお一部変更する可能性がある。			
教科書	NEW エssenシャル 法医学 第5版 医歯薬出版株式会社			
参考書	死体は今日も泣いている 光文社新書 岩瀬博太郎			
成績評価の方法	レポートを課す			
他の授業との関連・履修上の注意	死因究明関連の講義に当たっては医学写真を多用することから、気分の悪くなりそうな方は履修を避けるべきである。			

科目名	健康危機管理学			[科目番号：41018320]
ターム	S 1	単位数	1	
曜日・授業時間帯	月 2&comma; 月 1			
場所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室			
担当教員	小林 廉毅			
授業の目的	新興・再興感染症等のアウトブレイクや大規模災害など様々な健康危機の事例、健康危機突発事の原因同定と対応策、リスクコミュニケーション、平時におけるサーベイランスについて学習するとともに、事例を用いて健康危機管理に必要な疫学調査法の基本を習得する。			
授業の方法	講義及び過去の典型的な事例を用いた事例研究 (ケーススタディ) による。			
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4 / 1 3 (月) 健康危機管理概論、新興・再興感染症 (岡部講師)   公衆衛生サーベイランス (小林)    4 / 2 7 (月) 感染症アウトブレイクへの対応 (中島講師)   災害医療とリスクコミュニケーション (冨尾講師)    5 / 1 1 (月) アウトブレイクへの対応 (1) (ケーススタディ) (中島講師、冨尾講師)   アウトブレイクへの対応 (2) (ケーススタディ) (中島講師、冨尾講師)    5 / 1 8 (月) (2 時限) 保健行政における健康危機管理 (田中講師)			
教科書	なし			
参考書	「最新感染症ガイド R-Book 2015」(日本小児医事出版社、2016 年)   「感染症予防必携 第 3 版」(日本公衆衛生協会、2015 年)			
成績評価の方法	出席 (約 60%) 及びレポート (約 40%) に基づいて評価する。			
他の授業との関連・履修上の注意	他学部聴講者については初回授業時に責任教員にその旨を伝えること。			

科目名	保健行政・健康危機管理学実習			[科目番号：41018321]
タ　　一　　ム	集中	単　　位　　数	2	
曜日・授業時間帯	集中			
場　　所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻（SPH）講義室			
担　当　教　員	小林 廉毅			
授　業　の　目　的	健康危機管理や保健行政一般に関して、各種資料の収集、各種疫学指標の算出、原因に関する仮説の構築、現実的な対応策の立案及びその実施と評価、対策実施に関わる組織・態勢のマネジメントなどについて実習する。			
授　業　の　方　法	保健行政・健康危機管理の現場に身をおき、保健所長などの各種専門職の役割を理解しながら、実習を行う。			
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	実習先（保健所等）における実習計画に基づいて行う。 実習期間は受入先との相談の上決定するが、今年度は9/2（月）～9/13（金）を予定している。			
教　科　書	なし			
参　考　書	「衛生行政大要 改訂第 24 版」（日本公衆衛生協会、2016 年）			
成績評価の方法	出席(50%)、実習態度(40%)、実習報告書(10%)を目安に評価するが、いずれも必須である（可否で判定）。			
他の授業との関連・履修上の注意	1. 「健康危機管理学」の履修を必須とする。  2. 本実習の対象者は将来、公衆衛生行政に進むことを希望しており、実習先の指定する資格を取得している者に限定する。また、受け入れ施設の都合により履修人数を制限することがある。			

科目名	環境健康医学 [科目番号：41018322]		
タ一ム	S 2	単位数	1
曜日・授業時間帯	月 2		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	KIM YOONHEE		
授業の目的	<p>This course introduces students to environmental health perspectives on how environmental factors influence human health at individual and population levels. Students will understand basic concepts and methods to assess environmental exposures and health effects. Studies for specific environmental factors (air pollution&amp;comma; water pollution&amp;comma; weather and climate variability) associated with health will be covered and discussed in the course.</p>		
授業の方法	Lecture and group discussion		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>#1. June 8 Overview and basic principles of environmental health #2. June 15 Environmental exposure assessment #3. June 22 Health effect assessment #4. June 29 Air pollution and human health &amp; group discussion #5. July 6 Weather and climate variability and human health &amp; group discussion #6. July 13 Water pollution and human health (Prof. Yamauchi&amp;comma; Hokkaido Univ.) #7. July 20 Group presentations </p>		
教科書	<p>Ray M. Merrill. Environmental epidemiology: principles and methods. Jones and Bartlett Publishers Dean Baker and Mark J. Nieuwenhuijsen. Environmental epidemiology: study methods and application. Oxford </p>		
参考書	<p>World Health Organization (WHO) <a href="http://www.who.int/">http://www.who.int/</a> International Society for Environmental Epidemiology (ISEE) <a href="http://www.iseepi.org/">http://www.iseepi.org/</a> International Society of Exposure Science (ISES) <a href="https://www.intlexposurescience.org/">https://www.intlexposurescience.org/</a>  Environmental health perspectives</p>		
成績評価の方法	20% Attendance 30% Short reactions (1-2 pages; two times) 25% Term paper 25% Group presentation		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>• All lectures are given in English.   • All assignments should be written/presented in English.  </p>		



科目名	公共健康情報学 [科目番号：41018323]		
タ ー ム	S 2	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	金 4&comma; 金 3		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	小山 博史		
授 業 の 目 的	<p>公共健康情報学入門の目的は、健康管理や予防活動を改善するための健康情報学および健康情報技術の方法論と概念に関する知識を得ることです。それは、現在あるいは将来、国や地方自治体でパブリックヘルスの専門家として働く際に情報学を利活用したい人を対象としています。  The goal of the Introduction of the Public Health Informatics (PHI) is to offer the grounding in methods and concepts of health informatics and health information technology for application to public health and population health. It is designed for current and future public health professionals who wish to develop PHI expertise or specialization to work in policy or management.</p>		
授 業 の 方 法	<p>講義 (約 70 分) + 質疑応答 (約 35 分)  Active learning: 課題を決めてチームで調べて発表してもらいます。 Lecture (about 70 min.) + Discussion(about 35 min.)</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>(講師の都合により変更の可能性有り)   6 月 5 日 (金) 13:00-16:40:  Evidence-based public health (小山)  健康情報とその公共性 (小山)   6 月 12 日 (金) 13:00-16:40:  パブリックヘルスにおける情報倫理 (小山)  公共健康情報学とは (小山)   6 月 19 日 (金) 13:00-16:40:  予防接種情報システム (小山)  総合討論 (Active Learning): 「日米比較研究」 (小山)   6 月 26 日 (金) 13:00-16:40:  災害医療における情報処理 (仮) (日本医科大学 准教授: 布施明先生)  地理情報システム (GIS) (小山)   7 月 03 日 (金) 13:00-16:40:  リアルワールドデータを通して見えるもの: 人間・社会を巡る「データ」の疫学的な活用に向けて (京都大学医学研究科 教授: 中山健夫先生)  総合討論 (Active Learning): 「サーベイランスシステムの日米比較」 (小山)   7 月 10 日 (金) 13:00-16:40:  がんゲノム医療提供体制の構想と課題   (国立がん研究センター中央病院遺伝子診療部門長: 吉田輝彦先生)  データマイニングの基礎 (R入門) (小山)   7 月 17 日 (金) 13:00-16:40:  がん情報提供等の現状と課題   (国立がん研究センター がん対策情報センター長 若尾文彦先生)  健康情報提供の現状と課題 (小山)   7 月 31 日 (金) 13:00-16:40: 総合討論 (Active Learning)</p>		
教 科 書	公共健康情報学入門. 共立出版. (予定)		
参 考 書	Magnuson&comma; J.A.&comma; Fu&comma; Jr.&comma; Paul C. (Eds.). Public health informatics and information systems. Springer; 2nd ed. (2013/12/19)		
成績評価の方法	出席 (約 40%)、小テスト総合討論 (約 30%)、期末テスト (約 30%)		
他の授業との関連・履修上の注意	特になし		

科 目 名	公共健康情報学演習	[科目番号：41018324]
タ ー ム	A 1	単 位 数 2
曜日・授業時間帯	金 4&comma; 金 3	
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室	
担 当 教 員	小山 博史	
授 業 の 目 的	<p>授業の目標・概要：世界中の情報学者は、私たちが人間の健康を改善するために情報をよりよく利用することを可能にする進歩をしています。公衆衛生情報学のためのこの演習では、R ソフトウェアと VR テクノロジーを使用した将来の健康情報学に焦点を当て、研究者、研究チーム、情報専門家、および管理者が使用できる実用的な知識とスキルを提供します。  Informaticians around the world are making advances that enable us to better use the information to improve human health. This exercise for Public Health Informatics focuses on the future of health informatics using R software and VR technology and provides practical knowledge and skills that investigators&amp;comma; research teams&amp;comma; informaticians&amp;comma; and administrators can use.</p>	
授 業 の 方 法	<p>演習についての印刷資料をもとに自分の PC を用いて演習を行う予定です。PC は持参してください。データサイエンスと機械学習、空間疫学入門には R (または Python) 用いる予定です。医療用 VR アプリ開発入門ではスマホで体験できる VR アプリを UNITYTM あるいは UNREALTM などの開発キットを用いる予定です。各演習は、基本的に演習用の資料を用いて行います。</p>	
授 業 計 画 及 び 内 容 (各回のテーマ)	<p>演習内容 (講師の都合により変更の可能性あり)：  9 月 25 日 (金) 13:00-16:40：  データサイエンス入門：パブリックヘルス分野の基本的なデータ処理法を Python を用いて演習を行います。  10 月 2 日 (金) 13:00-16:40：  機械学習入門 1：パブリックヘルス分野のデータを用いて主に予測 (識別) についての演習を行います。  10 月 9 日 (金) 13:00-16:40：  機械学習入門 2：パブリックヘルス分野のデータを用いて主に予測 (回帰) についての演習を行います。  10 月 16 日 (金) 13:00-16:40：  空間疫学入門 (疾患地図等)：疾患地図とは、疾患への罹患・死亡の危険性 (リスク) を主題とする一種のリスクマップのことです。パブリックヘルス従事者には大変重要な情報の一つです。ここでは R を用いた疾患地図の作成についての演習を行います。  10 月 23 日 (金) 13:00-16:40：  空間疫学入門 (地域格差等)：パブリックヘルス活動において地域格差は大きな問題です。ここでは空間疫学的手法を用いた地域格差の可視化についての演習を行います。  10 月 30 日 (金) 13:00-16:40：  医療用 VR アプリ開発入門 1：パブリックヘルス活動には評価分析、政策立案、介入サイクルが必要です。近年、認知症の理解と共感や健康増進アプリへ VR 技術が積極的に応用されるようになってきました。ここでは、VR 開発キットを用いた簡単な VR アプリの作成法についての演習を行います。  11 月 6 日 (金) 13:00-16:40：  医療用 VR アプリ開発入門 2：VR 開発キットを用いた簡単な VR アプリ改良法についての演習を行います。  11 月 13 日 (金) 13:00-16:40：  医療用 VR アプリ開発入門 3：作成した VR アプリをスマートフォン等で体験し、VR 技術の評価演習を行います。</p>	
教 科 書	演習についての印刷資料予定	
参 考 書	R や Python、UNITY については数多くの書物がでています。また、インターネット上の教材もあるので参考にしてください。	

成績評価の方法	出席（約 50%）、レポート（約 50%）
他の授業との関連・履修上の注意	使用するPCは持参してください。

科目名	環境健康医学研究方法論			[科目番号：41018330]
タ ー ム	A 1	単 位 数	1	
曜日・授業時間帯	月 2			
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室			
担当教員	KIM YOONHEE			
授業の目的	This course introduces students to the advanced methodologies to investigate the short-term effects of environmental risk factors on human health. It will provide basic concepts&comma; study designs and statistical regression models using time-series data that have been widely used and intensively developed for the last few decades in the field of environmental epidemiology. Students will be able to interpret time-series data and regression models and acquire skills to apply the methodologies through hands-on practice using R.			
授業の方法	Lecture and practical			
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	#1. September 28 Introduction to time-series study designs and R basics #2. October 5 Practical for descriptive analysis #3. October 12 Time-series (TS) regression modeling #4. October 19 Practical for TS regression modeling #5. October 26 Nonlinear association estimation using TS model #6. November 2 Distributed lag nonlinear model (DLNM) #7. November 9 Practical for DLNM #8. November 16 Two-stage design			
教科書	Roger D. Peng and Francesca Dominici. 2008. Statistical Methods for Environmental Epidemiology with R: A Case Study in Air Pollution and Health. Springer.  Adrian G. Barnett and Annette J. Dobson. 2010. Analysing Seasonal Health Data. Springer.  Dean Bake			
参考書	International Society for Environmental Epidemiology (ISEE): <a href="http://www.iseepi.org/">http://www.iseepi.org/</a>  Environmental health perspectives: <a href="https://ehp.niehs.nih.gov/">https://ehp.niehs.nih.gov/</a>  Occupational and Environmental Medicine: <a href="http://oem.bmj.com">http://oem.bmj.com</a>  International Journal of Epidemiology: <a href="https://">https://</a>			
成績評価の方法	20% Attendance & attitude   50% Assignments (2 times: 25%x2)   30% Final term paper			
他の授業との関連・履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Please bring your laptop for every class.  </li> <li>• All students should be able to access Wi-fi in practical sessions.  </li> <li>• All lectures are given in English.  </li> <li>• All assignments should be written in English.  </li> <li>• It is recommended to take this course for a student</li> </ul>			

科目名	アジア諸国における比較医療制度論 [科目番号：41018331]		
ターム	A 1	単位数	2
曜日・授業時間帯	月 3&comma; 月 4		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	橋本 英樹		
授業の目的	<p>The course provides an introduction on the politico-economic analysis scheme on healthcare systems in Asia where policy agenda around universal health coverage is gradually matured. Each class focuses on each country-group system from multiple perspectives&amp;comma; e.g. history&amp;comma; the structure of political institutions&amp;comma; demographic and economic conditions of healthcare needs&amp;comma; current systems performance&amp;comma; etc. High income countries (South Korea&amp;comma; Japan&amp;comma; Taiwan)&amp;comma; mainland China&amp;comma; Thai&amp;comma; and other middle income countries (e.g LAO&amp;comma; Vietnam&amp;comma; Cambodia&amp;comma; Indonesia&amp;comma; Philippines&amp;comma; Mongol) are included in the discussion. The course is provided jointly by Prof. Hideki Hashimoto (UTokyo) and Prof. Soonman Kwon (Seoul National University)</p>		
授業の方法	lecture and intra-class discussion. Final session will be allocated for student presentation on chosen healthcare systems.		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>Sep 28th Session 1+2 Introduction (frame of comparative healthcare analysis) (Kwon) Oct 5th Session 3+4 High income countries (Japan&amp;comma; Korea and Taiwan) (Kwon) Oct 12th Session 5+6 Systems performance evaluation (led by Hashimoto) Oct 19st Session 7+8 Emerging economy (China and Thai) (led by Hashimoto) Oct 26th Session 9+10 Lao&amp;comma; Vietnam&amp;comma; Cambodia&amp;comma; Mongolia&amp;comma; Philippines&amp;comma; Indonesia (Kwon) Nov 2nd Session 11+12 Comparative health systems and SDG; student presentation and discussion (led by Kwon and Hashimoto) </p>		
教科書	reading materials will be distributed beforehand in class.		
参考書	References; WHO observatory health systems review and related papers&comma; likely available at;   <a href="https://iris.wpro.who.int/">https://iris.wpro.who.int/</a>		
成績評価の方法	Grading; participation and in-class discussion 60% in-class presentation (group effort) 20% report 20%		
他の授業との関連・履修上の注意	Provided in English		

科 目 名	インターンシップ			[科目番号：41018411]
タ ー ム	通年	単 位 数	2	
曜日・授業時間帯	集中			
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室			
担 当 教 員	橋本 英樹			
授 業 の 目 的	公衆衛生の現場（公衆衛生関連の試験研究機関・シンクタンク・非営利団体等、医療機関）などに身を置いて、実務の中から、自ら取り組むべき課題を見つけ、分析を行い、対策を立案する能力を身に付ける。なお本コースは公共健康医学専攻修士課程の学生に対してのみオープンとなっている。			
授 業 の 方 法	学生が自らの関心に応じて、あらかじめ用意されたインターンシップ受入先（上記参照）を担当教員に提示した後、担当教員がコーディネーターとなり、学生の意欲や適性と受入先の状況に応じて受入先と調整を行い、派遣先を決定後、実施する。 *募集期間 5 月中旬および 1 月下旬			
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	8～9月中の2～3週間（募集5月中旬）または3月中の2～3週間（募集1月下旬）の期間での実施を原則とする。  インターンシップ実施にあたって、あらかじめ、学生、責任教員及び受け入れ先と綿密に打ち合わせの上、実習計画を立て、それに基づいて実習を行う。  o受入先一覧 No インターンシップ受入先及びテーマ（予定）（括弧内は担当教員・部署） 1 国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所（佐々木教授）  栄養疫学に関するデータ収集および分析の援助 2 NPO メンタルケア協議会（医学部大学院係）  ① 東京都自殺相談ダイヤル相談記録に基づく相談者傾向の分析等  ② 東京都精神科救急医療情報センター相談記録に基づく救急医療利用の傾向変化についての分析等  ③ 自殺未遂者対応連携支援事業における G-P 連携の効果評価 3 国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報・統計部（松山教授）  ① 臨床研究現場の見学：臨床試験・研究の立案プロセス等を知り、医療機関で働く生物統計家や臨床試験・研究に関する専門家の役割を学ぶ  ② 臨床試験データの解析演習 4 国立研究開発法人 国立がん研究センターがん対策情報センターがん情報提供部（木内教授）  患者・市民から信頼される、活用される情報づくりの実際を学ぶ   患者・市民向けの情報の作成手順や手続きの必要性や役割を学ぶとともに、エビデンスの抽出方法や患者・市民の視点での表現方法等を学ぶ 4 国立保健医療科学院（松山教授）  医療技術や医薬品等の費用対効果の評価と活用 5 株式会社 三菱総合研究所（夏季のみ）（医学部大学院係）  保健、医療、介護に関わるプロジェクト分析やコンサルティング業務など 6. 上記以外に川崎市などの自治体でのインターンシップ（検討中；詳細は専攻長まで）  上記以外の機関については、専攻長まで希望を書面で提出し、専攻会議で承認を受けることでインターンシップを行うことができる。			
教 科 書	特に指定しない。			
参 考 書	特に指定しない。			
成績評価の方法	出席（30%）、実習態度（30%）、インターンシップ報告書（40%）に基づいて評価する。			
他の授業との関連・履修上の注意	インターンシップ参加決定後の問題点等は、指導教員（研究室配属されていない場合には専攻長）と相談の上、窓口教員あるいは大学院係まで インターンシップ先での事故等に関する責任・保険の必要有無、インターンシップ先との守秘義務契約など事前に相談が必要となるものについては指導教員および専攻長に早めに連絡を			

科 目 名	公共健康医学特論	[科目番号：41018511]	
タ ー ム	S 1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	月 5&comma; 月 4		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	橋本 英樹、豊川 智之		
授 業 の 目 的	public health の歴史、意義、社会的要請を理解し、public health の実践者・研究者として求められる規範・視野・資質 (competency) を自ら育てていく基本的姿勢を講義・討論を通じて修得する。		
授 業 の 方 法	・各分野の教員と外部講師による講義を行う   ・テーマごとに資料が配布される		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>授業計画及び内容 (各回のテーマ)   1) 4/6 14:55-16:40 public health の歴史と SPH の誕生 (小林)   2) 4/6 16:50-18:35 MPH になにが求められるか (橋本・川上)   3) 4/13 14:55-16:40 public health の実践と理論 (佐々木)   4) 4/13 16:50-18:35 ディスカッション (橋本)   5) 4/20 14:55-16:40 経済学と public health (康永)   6) 4/20 16:50-18:35 個人情報とビッグデータ (大江)   7) 4/27 14:55-16:40 健康政策とポリティクス (鈴木 寛 公共政策大学院教授)   8) 4/27 16:50-18:35 行政から見た公衆衛生 ; 災害対策・危機管理 (坂元 昇 川崎市健康福祉局 医務監)   9) 5/11 14:55-16:40 行政から見た public health (細川えみ子 元八王子保健所所長)   10) 5/11 16:50-18:35 SPH でなにが学べるか、学ぶべきか (SPH 卒業生 長友亘 (足立区役所) 佐野隆一郎 (厚生労働省))   11) 5/18 14:55-16:40 evidence-based policy making (橋本)   12) 5/18 16:50-18:35 Social Determinants of Health (Guest speaker; TBA)   13) 5/25 14:55-16:40 public health におけるリーダーシップ (川上)   14) 5/25 16:50-18:35 総合ディスカッション (橋本 ほか)  </p>		
教 科 書	講義毎に異なるので適宜指示する。		
参 考 書	講義毎に異なるので適宜指示する。		
成績評価の方法	各回の出席 (50%)・レポート (2回・合わせて 50%) を総合的に評価して判定する。		
他の授業との関連・履修上の注意	他の授業のすべてと関連を有する。    橋本 (保健社会行動学 hidehashimoto-circ@umin.ac.jp)まで		

科目名	課題研究 [科目番号：41018611]		
タ　　ー　　ム	集中	単　　位　　数	6
曜日・授業時間帯	集中		
場　　所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担　当　教　員	橋本 英樹		
授　業　の　目　的	公衆衛生学の諸領域における高度な問題解決能力を身に付ける。		
授　業　の　方　法	特定の研究課題について、現地調査 (フィールドワーク)、資料収集、分析・統計解析、論文作成などを指導教員の指導のもとで行う。		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	4 月～12 月 課題研究   2021 年 1 月 8 日 (金) 全日 課題研究発表会		
教　科　書	特になし		
参　考　書	特になし		
成績評価の方法	出席状況 (50%) 及び課題研究の成果 (課題研究論文) (50%) で評価する。		
他の授業との関連・履修上の注意	出席状況 (50%) 及び課題研究の成果 (課題研究論文) (50%) を発表会にて評価する。課題研究発表会には、発表をしない学生も必ず出席し、質疑に参加するとともに、課題研究発表の内容に対して学生評価を行う。質問についても教員による総合評価を行う。		



## 6. 公共健康医学専攻成績評価規則

### 公共健康医学専攻成績評価規則

制定 平19. 4. 1

改正 平26. 7. 23

#### (成績の区分)

第1条 学生の成績は、A+, A, B, C, Fの5段階とし、C以上を合格とする。ただし、特別の理由があるときは合格・不合格の2段階評価とすることができる。

#### (成績区分の標準)

第2条 A+, A, B, C, Fの基準は、下記の通りとする。

A+ 90点以上

A 80点以上

B 70点以上

C 60点以上

F 不合格(60点未満)

#### (成績評価)

第3条 成績は、筆記試験及び平常点によって評価する。ただし、実習科目並びに相当の理由がある演習科目、受講生の少ない科目等では、レポート等の提出によって筆記試験に代えることができる。

2 各教員は、成績評価に際してどのような要素がどの程度考慮されるかにつき、学生が履修する前に公表しておくものとする。

3 教員による採点は、原則として素点によって行う。ただし、学生には素点ではなく、5段階評価で通知する。

#### (成績に関する説明)

第4条 学生は、自己の成績について、成績の通知を受けてから1ヶ月以内に限り所定の方式に従い、教員に対して説明を求めることができる。

#### (筆記試験の実施)

第5条 筆記試験実施の細目は、別に定める。

#### 附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

## 8. 国際保健学専攻との合併科目について

	科目番号	科目名 (担当)	単位	ターム	曜日	時限	開講場所
P. 56	41022111	国際保健政策学特論 I (橋爪)	2	S1・A1	火	3, 4	医学部 3号館 5階 N507 セミナー室
P. 58	41022112	国際保健政策学特論 II (橋爪)	2	A2・W	火	3, 4	医学部 3号館 5階 N507 セミナー室



科 目 名	国際保健政策学特論 I		[科目番号：41022111]
タ ー ム	S1A1	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	火 3&comma; 火 4		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	橋爪 真弘		
授 業 の 目 的	<p>本特論は、グローバルヘルスにおける主な課題と論点の理解と理論的背景を概説するとともに、政策課題の分析と解釈のための実践的演習を行う。グローバルヘルスの第一線で活躍する外部講師による特別講義も適宜実施し、理論と実践の双方を習得する。扱うテーマは、グローバルヘルスの政策とガバナンス、地球環境問題と健康、疾病負荷、健康格差、健康の社会的決定要因等である。  This course introduces the principles and theories of major global health challenges and discusses current controversies in improving global population health&amp;comma; as well as practical applications of quantitative methods to analyze and interpret issues and challenges for policy. Topics will include: global health policy and governance&amp;comma; global environmental health&amp;comma; disease burden&amp;comma; health equity&amp;comma; social determinants of health&amp;comma; etc.</p>		
授 業 の 方 法	<p>受講者は事前に課題文献を読みその内容を理解し、授業での議論に備えること。授業は双方向に行い、講義と演習、事例の議論から成る。特に、現代のグローバルヘルス上のテーマに関する解決策の分析、解釈と提言を行うことを重視する。講義や課題・試験は全て英語で行う。  Students are required to read and understand the contents of assigned readings prior to each lecture. Courses will be interactive&amp;comma; consisting of lectures&amp;comma; exercises and cases discussions. An emphasis will be placed on the capacity to analyze&amp;comma; interpret and propose solution to the current global health topics.</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>4月14日から5月26日(1-6)および9月29日から10月27日(7-10)まで。 April 14th -- May 26th (1-6) &amp; September 29th -- October 27th (7-10)   講義スケジュール(予定)  Tentative course schedule is as the following:    Lecture Topic 1. Global health policy: an overview  2. Overview of global burden of disease 3. Sustainable Development Goals: global policy and health agenda 4. Introduction to demographic analysis 5. Global environmental change and health 6. Global health governance 7. Taiwan burden of disease 8. Population aging and its implications to health systems 9. Introduction to health system and innovation 10. Innovations in maternal and child health    </p>		
教 科 書	<p>課題図書(毎週6から10の英語文献)は各講義の1週間前に配布する。  Course packs (6-10 papers per week) will be distributed in class one week before each lecture.</p>		
参 考 書	<p>課題図書(毎週6から10の英語文献)は各講義の1週間前に配布する。  Course packs (6-10 papers per week) will be distributed in class one week before each lecture.</p>		
成績評価の方法	<p>宿題(60%)、授業への参加(40%)    Problem sets (60%)&amp;comma; class participation (40%)</p>		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>受講者は事前に課題文献を読みその内容を理解し、授業での議論に備えること。授業は双方向に行い、講義と演習、事例の議論から成る。特に、現代のグローバルヘルス上のテーマに関する解決策の分析、解釈と提言を行うことを重視する。講義や課題・試験は全て英</p>		

	<p>語で行う。  Students are required to read and understand the contents of assigned readings prior to each lecture. Courses will be interactive&amp;comma; consisting of lectures&amp;comma; exercises and cases discussions. An emphasis will be placed on the capacity to analyze&amp;comma; interpret and propose solution to the current global health topics.</p> <p>特別講義や講義資料は国際保健政策学教室の HP を参照のこと。  Information on special lectures and course material will be available on the GHP website.</p>
--	--

科 目 名	国際保健政策学特論 II [科目番号：41022112]		
タ ー ム	A2W	単 位 数	2
曜日・授業時間帯	火 4&comma; 火 3		
場 所	医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担 当 教 員	橋爪 真弘		
授 業 の 目 的	<p>本特論は、グローバルヘルスにおける主な課題と論点の理解と理論的背景を概説するとともに、政策課題の分析と解釈のための実践的演習を行う。グローバルヘルスの第一線で活躍する外部講師による特別講義も適宜実施し、理論と実践の双方を習得する。扱うテーマは、保健医療制度と皆保険 (UHC)、慢性疾患 (NCDs)、プラネタリーヘルス、保健ガバナンス等である。  This course introduces the principles and theories of major global health challenges and discusses current controversies in improving global population health&amp;comma; as well as practical applications of quantitative methods to analyze and interpret issues and challenges for policy. Topics will include: health systems and universal health coverage (UHC)&amp;comma; non-communicable diseases (NCDs)&amp;comma; population aging&amp;comma; planetary health&amp;comma; health governance&amp;comma; etc.</p>		
授 業 の 方 法	<p>受講者は事前に課題文献を読みその内容を理解し、授業での議論に備えること。授業は双方向に行い、講義と演習、事例の議論から成る。特に、現代のグローバルヘルス上のテーマに関する解決策の分析、解釈と提言を行うことを重視する。講義や課題・試験は全て英語で行う。  Students are required to read and understand the contents of assigned readings prior to each lecture. Courses will be interactive&amp;comma; consisting of lectures&amp;comma; exercises and cases discussions. An emphasis will be placed on the capacity to analyze&amp;comma; interpret and propose solution to the current global health topics.</p>		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	<p>11月24日から1月19日 (1-7) および 1月26日から2月9日 (8-10) まで。 November 24th -- January 19th (1-7) &amp; January 26th -- February 9th (8-10)   講義スケジュール (予定)  Tentative course schedule is as the following:    Lecture Topic  1. Infectious disease surveillance system 2. Economic evaluation and cost-effective analysis  3. Cancer epidemiology and prevention 4. Comparative risk assessment 5. Air pollution and health 6. Global dimensions of mental health 7. Universal health coverage progress assessment 8. Disease outbreaks and international health regulations 9. Planetary health 10. Equity in health and social inclusion  </p>		
教 科 書	<p>課題図書(毎週 6 から 10 の英語文献)は各講義の 1 週間前に配布する。  Course packs (6-10 papers per week) will be distributed in class one week before each lecture.</p>		
参 考 書	<p>課題図書(毎週 6 から 10 の英語文献)は各講義の 1 週間前に配布する。  Course packs (6-10 papers per week) will be distributed in class one week before each lecture.</p>		
成績評価の方法	<p>宿題(60%)、授業への参加(40%)    Problem sets (60%)&amp;comma; class participation (40%)</p>		
他の授業との関連・履修上の注意	<p>受講者は事前に課題文献を読みその内容を理解し、授業での議論に備えること。授業は双方向に行い、講義と演習、事例の議論から成る。特に、現代のグローバルヘルス上のテーマに関する解決策の分析、解釈と提言を行うことを重視する。講義や課題・試験は全て英語で行う。  Students are required to read and understand the contents of assigned</p>		

	<p>readings prior to each lecture. Courses will be interactive, consisting of lectures, exercises and cases discussions. An emphasis will be placed on the capacity to analyze, interpret and propose solution to the current global health topics.</p> <p>特別講義や講義資料は国際保健政策学教室の HP を参照のこと。  Information on special lectures and course material will be available on the GHP website.</p>
--	---